



## Poly ビデオ モード ユーザガイド 4.4.0

### **SUMMARY**

このガイドでは、エンドユーザーに対象製品のタスクベースのユーザー情報を提供します。

---

# Table of contents

<b>1 本ガイドについて</b> .....	<b>1</b>
対象者、目的、および必須のスキル.....	1
Poly ドキュメントで使用されているアイコン.....	1
<b>2 はじめに</b> .....	<b>2</b>
Poly ビデオ システムの製品概要.....	3
Poly Studio G62 製品の概要.....	3
Poly G7500 システムの機能.....	3
Poly Studio X72 の機能.....	4
Poly Studio X70 の機能.....	4
Poly Studio X52 の機能.....	5
Poly Studio X50 の機能.....	5
Poly Studio X30 の機能.....	6
Poly Studio E70 カメラの概要.....	6
Poly Studio E60 カメラの概要.....	6
管理者の機能.....	7
システムをナビゲートする.....	7
Poly コントロール パネルにアクセスする.....	7
ホーム画面.....	7
アプリケーションでホーム画面にアクセスする.....	7
システムハードウェアの概要.....	9
Poly Studio G62 システムのポート.....	9
Poly G7500 のハードウェア.....	10
Poly G7500 システムポート.....	10
Poly Studio X72 ハードウェア.....	11
Poly Studio X72 privacy shutter behavior.....	12
Poly Studio X72 ハードウェアポート.....	12
Poly Studio X70 のハードウェア.....	13
Poly Studio X70 システムのハードウェアポート.....	14
Poly Studio X70 と Poly Studio X72 のプライバシーシャッターの動作.....	15
Poly Studio X52 のハードウェア.....	15
Poly Studio X52 システムのポート.....	16
Poly Studio X52 のプライバシー シャッター.....	16
Poly Studio X50 のハードウェア.....	17
Poly Studio X50 システムのポート.....	17
Poly Studio X50 のプライバシーシャッター.....	18
Poly Studio X30 のハードウェア.....	19

Poly Studio X30 システムのポート .....	19
Poly Studio X30 のプライバシーシャッター .....	20
Poly Studio E70 カメラのハードウェア .....	20
Poly Studio E70 のポート .....	20
Poly Studio E70 のプライバシー シャッターの動作 .....	21
Poly Studio E60 カメラのハードウェア .....	22
Poly Studio E60 のポート .....	23
Poly Studio E60 のプライバシーシャッターの動作 .....	23
LED ステータスインジケータ .....	24
Poly Studio G62 の LED の動作 .....	24
Poly G7500 システムの LED ステータスインジケータ .....	24
Poly Studio X72 システムと Poly Studio X70 システムの LED ステータスインジケータ .....	25
Poly Studio X50 および Poly Studio X30 システムの LED ステータスインジケータ .....	25
Poly Studio E70 カメラの LED ステータスインジケータ .....	26
Poly Studio E60 の LED インジケータ .....	27
システムの電源をオン/オフする .....	27
システムをナビゲートする .....	28
ホーム画面 .....	28
コンテンツ画面 .....	29
Poly IR リモコン ボタンの機能 .....	30
Bluetooth リモコン ボタンの機能 .....	31
システムのスリープ モードを解除する .....	33
アクセシビリティ機能 .....	34
聴覚障害者ユーザ .....	34
視覚障害者ユーザ .....	34
身体に障害のあるユーザ .....	34
<b>3 通話の発信 .....</b>	<b>36</b>
通話を発信する .....	37
電話をかける .....	37
着信応答 .....	37
着信を無視する .....	37
通話の終了 .....	37
Trio C60 を使用してパスワード保護された Zoom 会議に通話を発信する .....	38
連絡先に電話する .....	39
連絡先に発信する .....	39
通話回数の多い連絡先に通話する .....	39
最近の通話に発信する .....	39
お気に入りの連絡先に発信する .....	40
連絡先をお気に入りの登録する .....	40
連絡先のお気に入りを解除する .....	40
お気に入りの連絡先に発信する .....	40
カレンダーから会議に参加する .....	41
会議カード .....	41
会議カードを閲覧する .....	41
会議カードから会議に参加する .....	41

重複している会議に参加する .....	42
パスワード保護された会議に参加する .....	42
<b>4 コンテンツの共有 .....</b>	<b>43</b>
PC またはデバイスのコンテンツを共有する .....	44
Polycom Content App .....	44
Airplay または Miracast の認定デバイスのコンテンツをキャストする .....	44
HDMI 接続を使用してコンテンツを共有する .....	44
ブラックボードまたはホワイトボードでコンテンツを共有する .....	45
ブラックボードまたはホワイトボードを追加する .....	45
コンテンツのスナップショットを撮影する .....	45
スナップショットまたはコンテンツを削除する .....	46
コンテンツセッションを終了する .....	46
ブラックボード コンテンツまたはホワイトボード コンテンツを含む通話を終了する .....	46
<b>5 カメラ .....</b>	<b>47</b>
ローカル カメラを調整する .....	47
相手側のカメラを調整する .....	47
カメラの電源をオン/オフする .....	48
カメラトラッキングをオン/オフする .....	48
カメラプリセットを使用する .....	49
ローカル インターフェイスでカメラプリセットを保存する .....	49
プリセットを選択する .....	49
プリセットを削除する .....	49
プライマリ カメラを選択する .....	51
カメラの優先順位 .....	51
ローカル インターフェイスでプライマリカメラを選択する .....	51
<b>6 デバイスモードの使用 .....</b>	<b>52</b>
デバイス モードの PC およびケーブルの要件 .....	52
デバイス モードにアクセスする .....	53
PC のアクセサリとしてシステムを使用する .....	53
デバイス モードでシステム音声とカメラ設定を調整する .....	53
デバイス モード時の着信を管理する .....	54
デバイス モードを終了し、PC の接続を解除する .....	54
<b>7 Poly Control App を使用する .....</b>	<b>55</b>
Poly Control App を使用してシステムを制御する .....	55
<b>8 設定 .....</b>	<b>56</b>
ビデオを調整する .....	57
参加者のレイアウトを変更する .....	57
音声を調整する .....	58
マイクをミュートする .....	58
マイクのミュートを解除する .....	58

音量調節.....	58
<b>9 トラブルシューティング .....</b>	<b>59</b>
Poly デバイス モード.....	60
音声レベルが高すぎる/低すぎる .....	60
会議アプリケーションでシステム カメラまたは音声を使用されない .....	60
システムのカメラまたは音声を使用できない .....	60
音質を改善する .....	61
ノート PC 画面のミラーリングを改善する .....	61
コンテンツをワイヤレスで共有できない .....	61
コンテンツ ヘルプのヒントを表示する.....	62
ブラックボード ヘルプのヒントを表示する.....	62
<b>10 サポートを受けるには .....</b>	<b>63</b>
HP Inc. の住所.....	63
文書情報.....	63

---

# 1 本ガイドについて

このセクションには、このガイドに関する明確化のための情報が記載されています。

## 対象者、目的、および必須のスキル

本ガイドは、初めて本システムを使用されるユーザに加えて、Poly G7500、Poly Studio G62、および Poly Studio X シリーズで使用可能な機能の使用方法を学ぼうとされる中級・上級のユーザも対象としています。

## Poly ドキュメントで使用されているアイコン

このセクションでは、Poly ドキュメントで使用されているアイコンとその意味について説明します。

-  **警告！** 回避しないと、重大な傷害または死亡に至る**恐れがある**危険な状況を示します。
-  **注意：** 回避しないと、軽傷または中程度の傷害に至る**恐れがある**危険な状況を示します。
-  **重要：** 重要と見なされるが危険に関連しない情報(たとえば、物的損害に関連するメッセージ)を示します。記載された手順に正確に従わなかった場合、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの損傷につながる可能性があることをユーザに警告します。また、コンセプトの説明やタスクの完了に不可欠な情報も含まれています。
-  **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報が含まれています。
-  **ヒント：** タスクを完了するために役立つヒントを提供します。

---

## 2 はじめに

システムを使用する前に、その機能とローカルインターフェイスを理解しておく必要があります。

---

 **注記：** Poly TC8 または TC10 コントローラーでシステムを操作できますが、このガイドのすべてのタスクでは、Bluetooth、IR リモコン、タッチセンサー式モニターの使用をシステムに適応しています。TC8 デバイス付属のシステムの使い方について詳しくは、[『Poly TC8 ユーザーガイド』](#) または [『Poly TC10 ユーザーガイド』](#) を参照してください。

---

## Poly ビデオ システムの製品概要

Poly Studio G62、Poly G7500、Poly Studio X72、Poly Studio X70、Poly Studio X52、Poly Studio X50、および Poly Studio X30 システムは、Poly ビデオ会議およびコンテンツ共有機能をサポートしていません。

### Poly Studio G62 製品の概要

Poly Studio G62 システムはモジュール式のビデオ会議システムで、カスタム会議室をサポートするための HDMI、LLN (リンク ローカル ネットワーク)、および USB 接続を備えています。

Poly Studio G62 は設置が簡単で PoE+ クラス 4 の電力供給に対応し、ディスプレイの背面やテーブル下、または A/V ラックに配置できます。Poly Studio G62 システムは、IP LLN を介して Poly 音声およびビデオ製品と USB および 3.5 mm システムポートを使用して Poly およびサードパーティ製品をサポートしています。

Poly Studio G62 システムは、会議スペースに以下の機能を提供します。

- Sound Reflection Reduction を含む NoiseBlockAI などの音声イノベーション
- DirectorAI カメラのフレーミングおよびトラッキング
- アクセサリ用に設定可能な 2 つ目のネットワークポート
- デュアル モニタ 4K ビデオ
- ケーブル管理による柔軟な設置
- コンテンツモードとデバイスモード用の USB-C DP Alt Mode ポート
- Airplay または Miracast を使用した無線のコンテンツ共有

### Poly G7500 システムの機能

G7500 システムは、以下の機能に対応しています。

- 周辺機器カメラとマイクにより、中規模会議室向けにも大規模な統合会議室向けにもシステムを拡張可能
- ビデオ通話の発信と参加
- 無線および有線のコンテンツ共有
- 発言者へのズームインと、室内にいる人のグループのフレーミングを自動的に行うカメラトラッキングテクノロジー (ペアリングされたカメラとシステムの設定に応じて)
- 通話中、一般的な職場環境での周囲ノイズや外部騒音を除去する、Poly NoiseBlockAI
- 定義された領域での音声のみを取得することで、人々が行き交う職場でのビデオ会議を可能にする Polycom Acoustic Fence の技術
- HDMI: シングル入力とデュアル出力
- シリアルポート接続
- 有線またはワイヤレス USB マウスを入力デバイスとして使用

## Poly Studio X72 の機能

Poly Studio X72 システムは以下の機能に対応しています。

- 大型会議室に最適な、水平画角 70 度および 120 度のデュアル 4K 20MP カメラ。
- RJ11 Poly Expansion マイクポートを使用した Poly Expansion マイクのサポート
- 7.62 m (25 フィート) 内の音声を拾う、内蔵マイク装備のハイ フィデリティ オーディオ
- Poly Acoustic Fence 技術は、会議室のマイクを使用して、定義済みのサウンドゾーンを作成し、外部の音声や騒音から通話を保護します。
- ペリメーター機能、グループフレーミング、話者フレーミング、人物フレーミングを含む Poly Director AI
- デバイスの設定、構成、および管理のための Poly Lens Cloud サポート
- 複数の取り付けオプション Poly Studio X72 に付属の壁面マウントを使用するか、VESA マウントまたは卓上スタンドを購入してください。

Poly Studio X72 は、ディスプレイの上または下に取り付けることができます。Poly Studio X72 は、上下反転取り付けには対応していません。詳細については、Poly Studio X72 のクイック スタート ガイドを参照してください。

## Poly Studio X70 の機能

### Poly Studio X70 の機能

Studio X70 システムは、以下の機能をサポートします。

- 中大規模会議室向けのオールインワン コラボレーション システム
- ビデオ会議ソフトウェアを実行するために、別個の PC、ノート PC、またはコーデックは不要
- ビデオ通話の発信と参加
- 無線および有線のコンテンツ共有
- デュアル内蔵 4K カメラ
- 室内にいる人のグループのフレーミングを自動的に行うカメラ トラッキング テクノロジー
- 7.62m 内の音声を拾い、真に迫った存在感と鮮明さを再現する空間オーディオを使用した高忠実度内蔵ステレオマイク
- 通話中、一般的な職場環境での周囲ノイズや外部騒音を除去する、Poly NoiseBlock AI
- HDMI: シングル入力とデュアル出力
- 有線またはワイヤレス USB マウスを入力デバイスとして使用

### Poly Studio X70 の取り付け向き

Studio X70 は、ディスプレイの上または下に取り付けることができます。Studio X70 は、上下反転取り付けには対応していません。Studio X70 の取り付けについて詳しくは、Studio X70 のセットアップシートを参照してください。

## Poly Studio X52 の機能

Studio X52 システムは、以下の機能に対応しています。

- ハドルルームや小中規模会議室向けのオールインワン コラボレーション システム
- ビデオ会議ソフトウェアを実行するために、別個の PC、ノート PC、またはコーデックは不要
- ビデオ通話の発信と参加
- 無線および有線のコンテンツ共有
- 水平画角 95 度、2000 万画素の鮮明な 4K カメラ
- 室内にいる人のグループのフレーミングを自動的に行うカメラ トラッキングテクノロジー
- 7.62m 内の音声を拾い、真に迫った存在感と鮮明さを再現する空間オーディオを使用した高忠実度内蔵ステレオマイク
- 通話中、一般的な職場環境での周囲ノイズや外部騒音を除去する、Poly NoiseBlockAI
- デュアルステレオスピーカー
- HDMI: シングル入力とデュアル出力
- Poly Lens を使用すれば、設定、管理、使用が簡単になります。

### Poly Studio X52 の取り付け向き

Studio X52 は、ディスプレイの上または下に取り付けることができます。Studio X52 は、上下反転取り付けには対応していません。Studio X52 の取り付けについては、『*Poly Studio X52 クイックスタートガイド*』を参照してください。

## Poly Studio X50 の機能

Studio X50 システムは、以下の機能をサポートします。

- ハドルルームや小中規模会議室向けのオールインワン コラボレーション システム
- ビデオ会議ソフトウェアを実行するために、別個の PC、ノート PC、またはコーデックは不要
- ビデオ通話の発信と参加
- 無線および有線のコンテンツ共有
- 120 度の超広角視野を備えた内蔵 4K カメラ
- 室内にいる人のグループのフレーミングを自動的に行うカメラ トラッキングテクノロジー
- 7.62m 内の音声を拾い、真に迫った存在感と鮮明さを再現する空間オーディオを使用した高忠実度内蔵ステレオマイク
- 通話中、一般的な職場環境での周囲ノイズや外部騒音を除去する、Poly NoiseBlockAI
- デュアルステレオスピーカー
- HDMI: シングル入力とデュアル出力
- 有線またはワイヤレス USB マウスを入力デバイスとして使用

## Poly Studio X50 の取り付け向き

Studio X50 は、ディスプレイの上または下に取り付けることができます。Studio X50 は、上下反転取り付けには対応していません。Studio X50 の取り付けについて詳しくは、Studio X50 のセットアップシートを参照してください。

## Poly Studio X30 の機能

Studio X30 システムは、以下の機能をサポートします。

- ハドルルームや小中規模会議室向けのオールインワン コラボレーション システム
- ビデオ会議ソフトウェアを実行するために、別個の PC、ノート PC、またはコーデックは不要
- ビデオ通話の発信と参加
- 無線および有線のコンテンツ共有
- 120 度の超広角視野を備えた内蔵 4K カメラ
- 室内にいる人のグループのフレーミングを自動的に行うカメラ トラッキング テクノロジー
- 4.57m 内の音声を拾い、実際のプレゼンスと明瞭さを再現する空間オーディオを使用する高忠実度内蔵ステレオマイク
- 通話中、一般的な職場環境での周囲ノイズや外部騒音を除去する、Poly NoiseBlockAI
- シングル モノラル スピーカー
- HDMI: シングル入力と出力
- 有線またはワイヤレス USB マウスを入力デバイスとして使用

## Poly Studio X30 の取り付け向き

Studio X30 は、ディスプレイの上または下に取り付けることができます。Studio X30 は、上下反転取り付けに対応しています。Studio X30 の取り付けについて詳しくは、Studio X30 のセットアップシートを参照してください。

## Poly Studio E70 カメラの概要

Poly Studio E70 は、中規模から大規模の会議室のためのデュアルカメラソリューションです。

Poly Studio E70 には、以下の機能が装備されています。

- 完全トラッキングおよびフレーミング機能を備えたスタンドアロン USB 4K カメラ
- 最大 7.6 m (25 フィート) の視覚カバレッジ
- 音声発生位置を正確に特定してカメラトラッキングをサポートするマイク

## Poly Studio E60 カメラの概要

Poly Studio E60 は、大規模な会議室向けの機械式パン/チルト/ズーム (MPTZ) 4K カメラです。

Poly Studio E60 には、以下の機能が装備されています。

- 12 倍光学ズームの MPTZ カメラ、最大 4K 解像度

- グループフレーミングとプレゼンタートラッキングを含む Poly Director AI
- Android および Windows ベースのビデオシステムに接続可能
- 上下反転マウントオプション

 **注記：** プレゼンタートラッキングは、USB 接続経由でのみサポートされています。Poly G7500、Poly Studio G62、または Poly Studio X ビデオバーでは、Poly Studio E60 リモコンをサポートしていません。Poly タッチコントローラか、Poly G7500、Poly Studio G62、または Poly Studio X ビデオバーのリモコンを使用してください。

## 管理者の機能

G7500 および Studio X ファミリー システムには、管理者がシステムを導入、管理、アクセスするための機能が搭載されています。

これらのシステムには、以下の機能が用意されています。

- スタンドアロンのシステムを管理するためのリモート アクセス
- Poly Clariti Manager とのプロビジョニングにより、単一システム、中小規模企業、大規模なマルチサイト企業での導入をサポート
- SNMP のレポート機能とリモート ログ記録
- 業界標準のセキュリティ技術 (802.1X 認証など)
- Polycom プラットフォームのオンプレミス インフラストラクチャと管理ソリューション
- 標準規格に準拠したビデオ会議機能 (SIP および H.323)
- カスタマイズ可能なホーム画面とモニターのレイアウト

## システムをナビゲートする

システムに搭載されているコントロールパネルによって、システムの状態に関する重要な情報にアクセスし、確認できます。

### Poly コントロールパネルにアクセスする

Poly コントロールパネルを使用すると、システムの追加機能にアクセスできます。

- 画面右側の境界線から左方向へスワイプします。

### ホーム画面

ホーム画面を使用すると、対応するアイコンを選択することによって、システムにインストールされているアプリケーションにアクセスできます。

### アプリケーションでホーム画面にアクセスする

アプリケーションの使用中に、ホーム画面に戻ることができます。

1. 以下のいずれかを実行します。
  - 画面の右側の境界線から、左方向へスワイプします。

- リモコンの【メニュー】を押します。
2. 【ホーム】を選択します。

# システムハードウェアの概要

次のトピックの図と表には、システムで使用できるハードウェア機能に関する情報が記載されています。

## Poly Studio G62 システムのポート

次の図では、Poly Studio G62 システムで使用できるポートについて説明します。

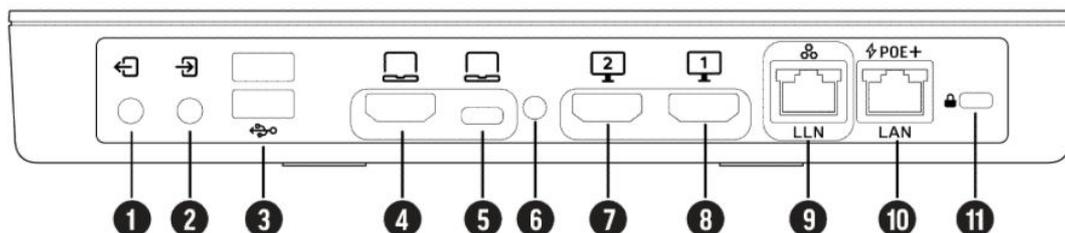


Table 2-1 Poly Studio G62 のポート

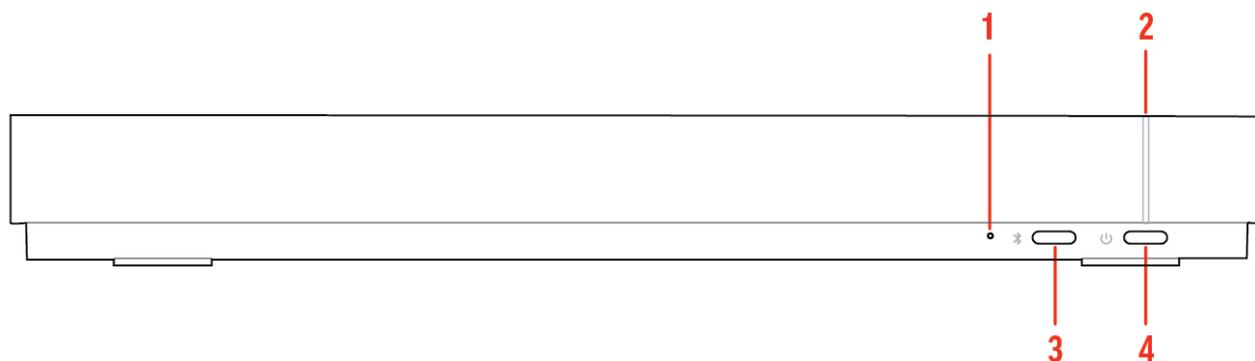
項目	ポート	説明
1	3.5 mm 出力	スピーカーをシステムに接続します。
2	3.5 mm 入力	マイクをシステムに接続します。
3	USB Type-A ポート (3.0)	USB カメラまたは USB 音声 DSP を接続します。
4	HDMI 入力	以下のオプションを提供します。 <ul style="list-style-type: none"><li>HDMI コンテンツソースまたは HDMI カメラを接続します。</li><li>コンピュータの HDMI ポートに接続する場合は、システムモニターを使用します。</li></ul> コンテンツ共有機能を提供します。
5	USB Type-C ポート	以下のオプションを提供します。 <ul style="list-style-type: none"><li>接続されているラップトップのシステムカメラ、スピーカー、マイクを使用します。</li><li>DP Alt モード接続を使用して、システムカメラ、スピーカー、マイク、モニターを使用します。サポートされている DP Alt モードケーブルと、DP Alt モードをサポートする USB Type-C ポートを備えたコンピュータが必要です。</li></ul>
6	ピンホールリセット	システムのファクトリリセットを実行します。
7	HDMI 2	セカンダリモニターを接続します。
8	HDMI 1	プライマリモニターを接続します。

**Table 2-1 Poly Studio G62 のポート (続き)**

項目	ポート	説明
9	LLN ポート	<p>Poly IP マイクや Poly IP カメラなどの IP 周辺機器を接続します。</p> <p>このポートは電力を供給しません。LLN ポートに接続されている IP 周辺機器に電力を供給するには、PoE スイッチまたは PoE インジェクタが必要です。</p>
10	PoE+ 電源入力	<p>クラス 4 PoE+ インジェクタまたは PoE+ スイッチを使用して、Poly G7500、Poly Studio G62、および Poly Studio X シリーズシステムに電力供給します。</p> <p>企業ネットワークにアクセスできます。</p>
11	セキュリティロック	システムを物理的に保護します。

## Poly G7500 のハードウェア

次の図は、Poly G7500 システムのハードウェア機能を示しています。次の表で、番号が付いているそれぞれの機能について説明します。

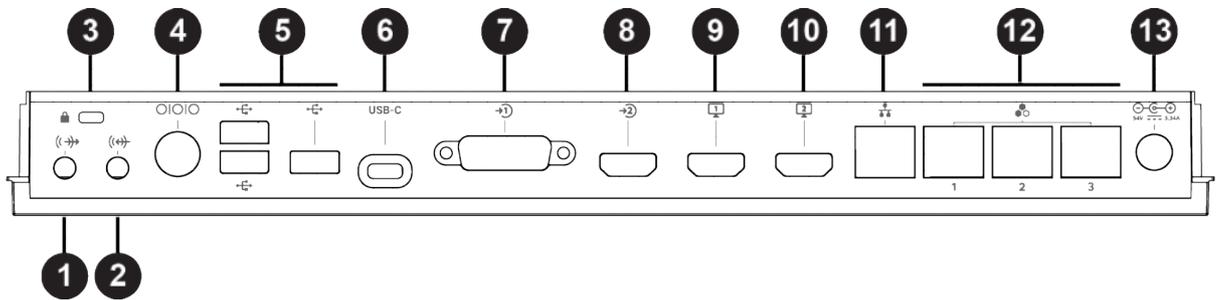


**Table 2-2 Poly G7500 の機能説明**

参照番号	機能	機能の説明
1	[リセット] ボタン	Poly G7500 を工場出荷時のソフトウェアバージョンにリセットします
2	LED インジケータ	システムのステータスを表示します
3	リモコンの [ペアリング] ボタン	Bluetooth リモコンでペアリングモードを有効にします
4	[再起動] ボタン	システムを再起動します

## Poly G7500 システムポート

次の図と表で、G7500 システムのバックパネルのポートについて説明します。

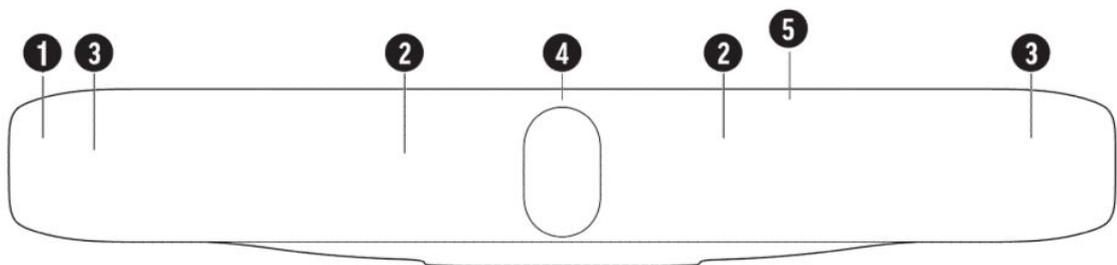


**Table 2-3** G7500 システムのポートの説明

参照番号	ポートの説明
1	3.5 mm 音声ライン出力
2	3.5 mm 音声ライン入力
3	セキュリティロック
4	Mini-DIN/RS-232 シリアルポート <b>注記：</b> シリアルポートは、自動化目的でサードパーティの制御システムデバイスによって使用されることがあります。
5	USB-A ポート
6	USB-C ポート
7	Polycom カメラの HDCI 入力
8	コンテンツ共有用 HDMI 入力(ノート PC から、など)
9	プライマリモニタ用 HDMI 出力
10	セカンダリモニタ用 HDMI 出力
11	システムの LAN 接続
12	IP ベースの周辺機器用の LLN(リンク ローカル ネットワーク)接続
13	電源コードポート

## Poly Studio X72 ハードウェア

次の図と表で、Poly Studio X72 システムのハードウェアコンポーネントについて説明します。



**Table 2-4 Poly Studio X72 のハードウェアコンポーネント**

参照番号	機能	説明
1	メッシュスクリーン	システムの前面をカバーする保護スクリーン
2	マイクロフォン配列	音声を拾うマイクアレイ
3	スピーカー	音声出力
4	デュアルカメラ	カメラの状態に応じて自動的に開閉するプライバシーシャッターが付いたカメラ
5	LEDインジケータ	システムのステータスと、トラッキングされている発言者の情報を示します

## Poly Studio X72 privacy shutter behavior

The privacy shutter automatically opens and closes depending on the state of the connected video system.

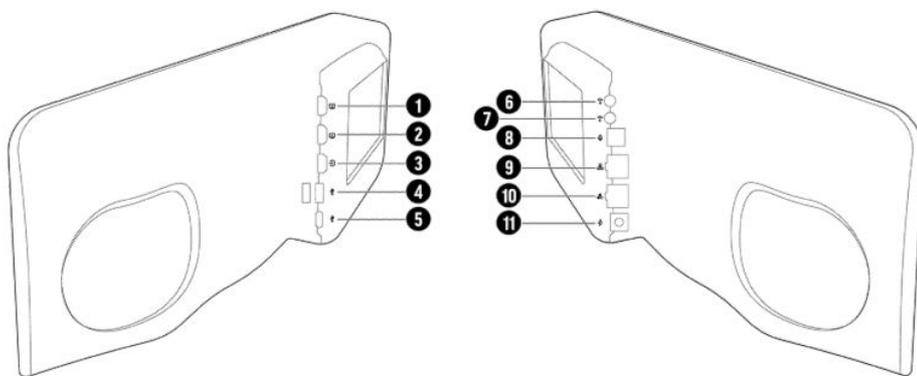
 **注記：** パートナーアプリケーションによって、シャッターの動作が異なる場合があります。

**Table 2-5 Poly Studio X72 privacy shutter behavior**

システムイベント	シャッターの動作
システム電源オン	シャッターが開く
システム電源オフ	シャッターが閉まる
	<b>注記：</b> すぐに電源を切ってもシャッターは閉まりません。
システムがスリープモードになるか、デジタルサイネージが起動し、【 Camera Sleep Setting 】(カメラスリープ設定)が【 Save Energy 】(省エネ)に設定される	シャッターが閉まる
システムがスリープモードになるか、デジタルサイネージが起動し、【 Camera Sleep Setting 】(カメラスリープ設定)が【 Fast Wake 】(高速起動)に設定される	シャッターは開いたまま <b>注記：</b> 【 Fast Wake 】(高速起動)が設定されている場合、シャッターは閉じません。
システムを起動	シャッターが開く
システム起動時、内蔵カメラがプライマリカメラとして設定されていない場合	シャッターは閉じたまま
内蔵カメラをプライマリカメラとして選択する	シャッターが開く
システムが着信を受信する	シャッターが開く
システムがビデオを送信中	シャッターが開く
システムはアクティブな通話中で、ビデオがミュートされている	シャッターが開く

## Poly Studio X72 ハードウェアポート

次の図と表で、Poly Studio X72 システムのハードウェアポートについて説明します。



**Table 2-6 Poly Studio X72 ハードウェアポートの説明**

参照番号	ポートの説明
1	セカンダリモニタ用 HDMI 出力
2	プライマリモニタ用 HDMI 出力
3	HDMI 入力 コンテンツ共有やデバイスモードでのシステムモニタの使用のためにラップトップを接続します。 追加の人物カメラとして使用するために HDMI カメラを接続します。
4	USB-A ポート
5	USB Type-C ポート (デバイスモード専用) <b>注記：</b> 注意: USB Type-C ポートは、点検修理、設置、Poly デバイスモード専用です。
6	3.5 mm 音声ライン入力
7	3.5 mm 音声ライン出力
8	拡張マイク接続
9	システムの LAN 接続
10	IP ベースの周辺機器用の LLN (リンク ローカル ネットワーク) 接続 (将来の Poly VideoOS リリースでサポート予定)
11	電源コードポート

## Poly Studio X70 のハードウェア

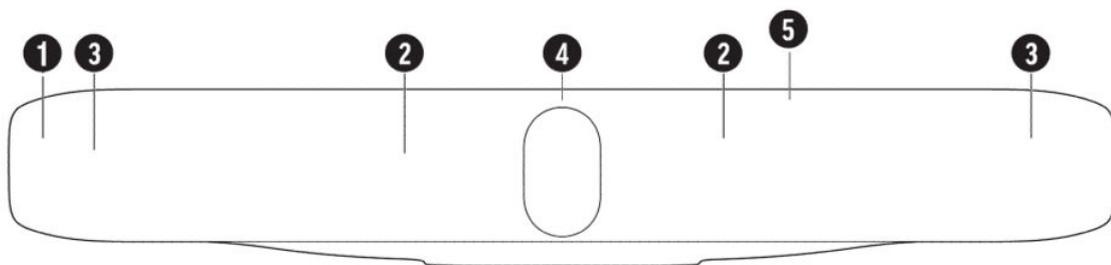


Table 2-7

参照番号	機能	説明
1	スクリーン	システムの前面をカバーする保護スクリーン
2	マイクロフォン配列	音声を拾うマイクアレイ
3	スピーカー	音声出力
4	デュアルカメラ	カメラの状態に応じて自動的に開閉するプライバシーシャッターが付いたカメラ
5	LED インジケータ	システムのステータスと、トラッキングされている発言者の情報を示します

## Poly Studio X70 システムのハードウェアポート

次の図と表で、Poly Studio X70 システムのポートについて説明します。

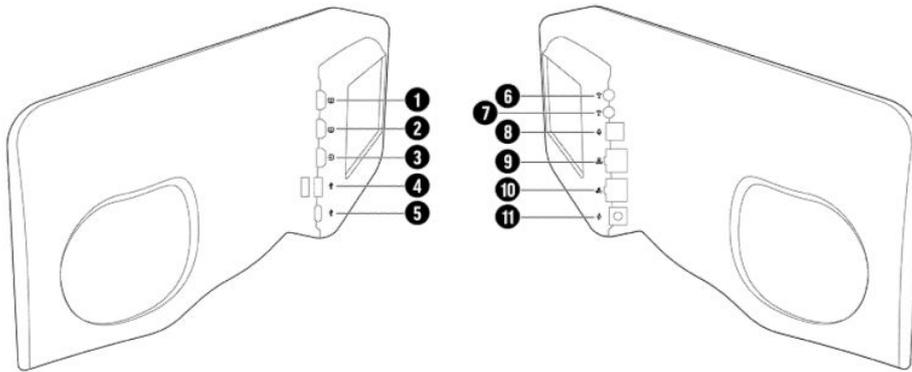


Table 2-8 Poly Studio X70 システムのハードウェアポートの説明

参照番号	ポートの説明
1	セカンダリモニタ用 HDMI 出力
2	プライマリモニタ用 HDMI 出力
3	コンテンツ共有用 HDMI 入力(ノート PC から、など)
4	USB-A ポート
5	USB-C ポート
6	3.5 mm 音声ライン入力
7	3.5 mm 音声ライン出力
8	拡張マイク接続
9	システムの LAN 接続
10	IP ベースの周辺機器用の LLN(リンク ローカル ネットワーク) 接続 <b>注記:</b> このポートは無効にされており、将来の使用のために予約されています。
11	電源コードポート

## Poly Studio X70 と Poly Studio X72 のプライバシーシャッターの動作

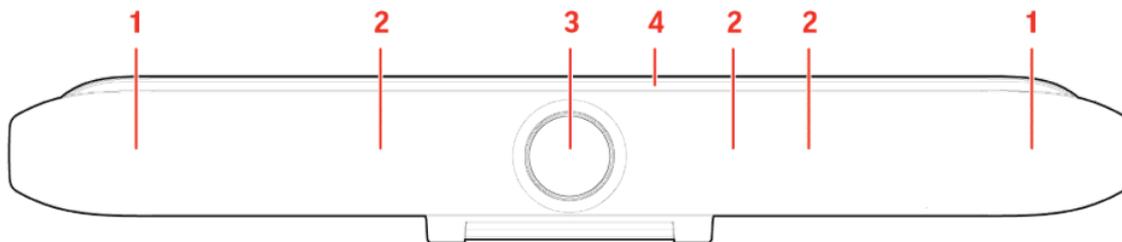
### Poly Studio X70 のプライバシー シャッターの動作

 **注記：** パートナー アプリケーションによって、シャッターの動作が異なる場合があります。

システム イベント	シャッターの動作
システム電源オン	シャッターが開く
システム電源オフ	シャッターが閉まる <b>注記：</b> すぐに電源を切ってもシャッターは閉まりません。
システムがスリープモードになるか、デジタルサイネージが起動し、【 Camera Sleep Setting 】(カメラスリープ設定)が【 Save Energy 】(省エネ)に設定される	シャッターが閉まる
システムがスリープモードになるか、デジタルサイネージが起動し、【 Camera Sleep Setting 】(カメラスリープ設定)が【 Fast Wake 】(高速起動)に設定される	シャッターは開いたまま <b>注記：</b> 【 Fast Wake 】(高速起動)が設定されている場合、シャッターは閉じません。
システムを起動	シャッターが開く
システム起動時、Studio X70 の内蔵カメラがプライマリカメラとして設定されていない場合	シャッターは閉じたまま
Studio X70 内蔵カメラをプライマリカメラとして選択する	シャッターが開く
システムが着信を受信する	シャッターが閉じている場合は、着信が応答されるまで閉じたまま
システムがビデオを送信中	シャッターが開く
システムはアクティブな通話中で、ビデオがミュートされている	シャッターが開く

## Poly Studio X52 のハードウェア

次の図は、Poly Studio X52 システムのハードウェア機能を示しています。次の表で、番号が付いているそれぞれの機能について説明します。



**Table 2-9** Poly Studio X52 の機能説明

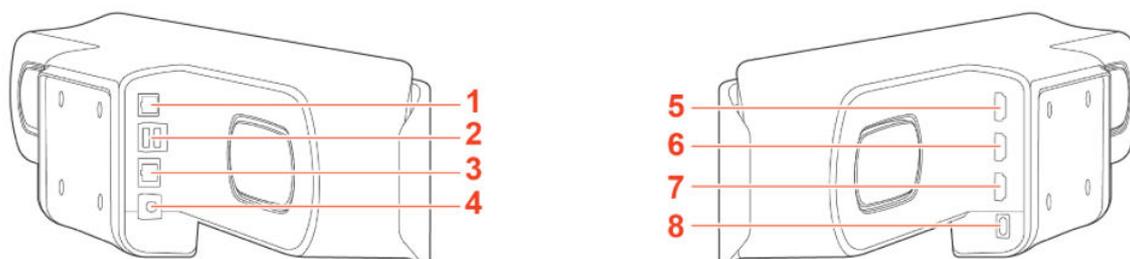
参照番号	機能	機能の説明
1	スピーカー	音声出力
2	マイクロフォン配列	音声を拾うマイクアレイ
3	カメラ	プライバシーカバー付きのカメラで、任意でビデオ入力を有効または無効にします

**Table 2-9** Poly Studio X52 の機能説明 (続き)

参照番号	機能	機能の説明
4	LED インジケータ	システムの状態と、トラッキングされている発言者の情報を示します

## Poly Studio X52 システムのポート

次の図と表で、Poly Studio X52 システムのポートについて説明します。

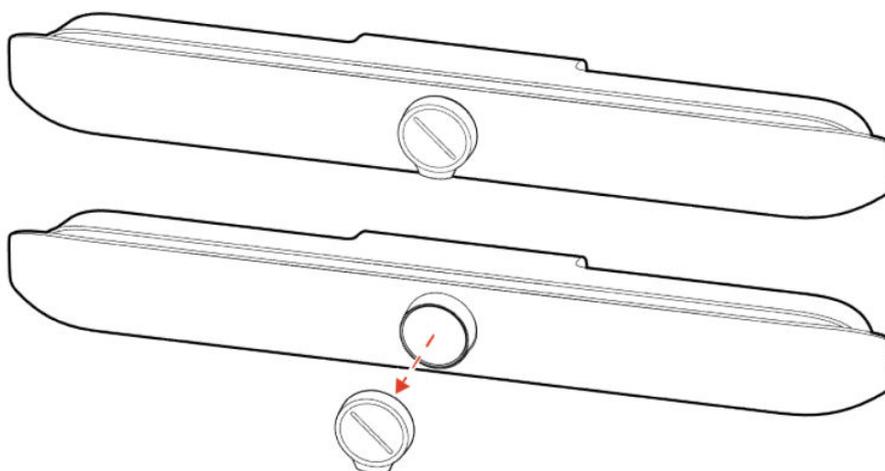


**Table 2-10** Poly Studio X52 システムのポートの説明

参照番号	ポートの説明
1	Poly テーブル拡張マイク接続部
2	USB-A ポート
3	RJ45 イーサネットポート
4	電源ポート
5	セカンダリモニタ用 HDMI ポート
6	プライマリモニタ用 HDMI ポート
7	コンテンツ共有およびデバイスモード用 HDMI ポート
8	デバイスモード用 USB-C ポート

## Poly Studio X52 のプライバシーシャッター

Poly Studio X52 には、カメラレンズに装着できる物質的なカバーが付いており、プライバシーを保護できます。



## Poly Studio X50 のハードウェア

次の図は、Poly Studio X50 システムのハードウェア機能を示しています。次の表で、番号が付いているそれぞれの機能について説明します。

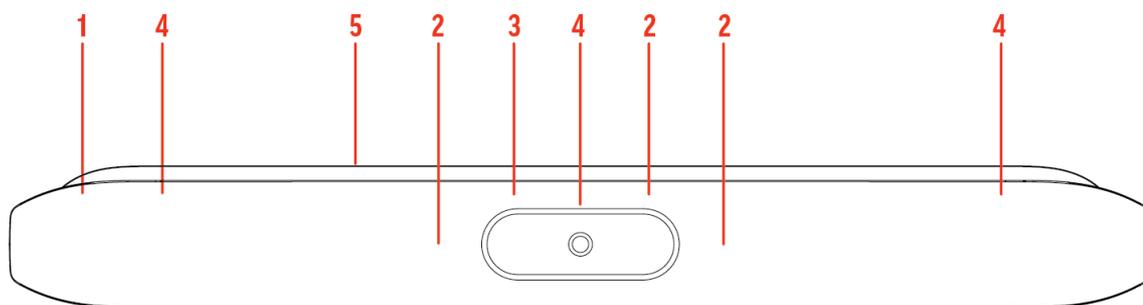
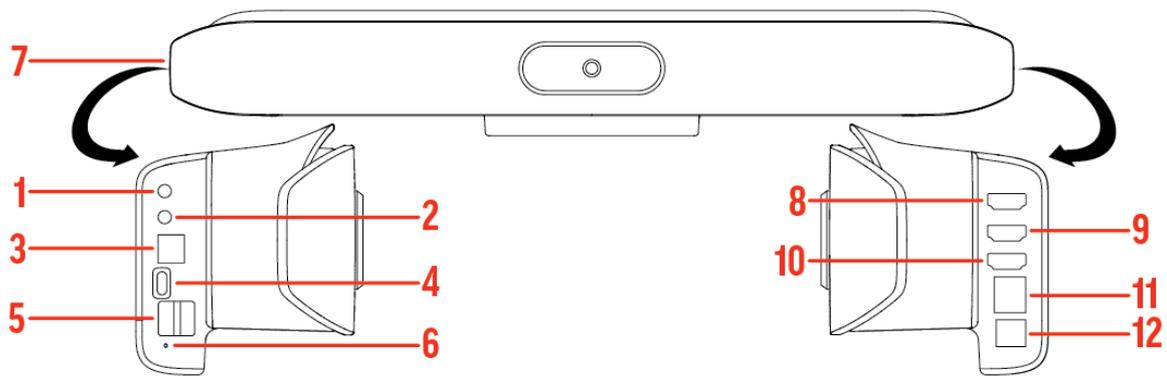


Table 2-11 Poly Studio X50 の機能説明

参照番号	機能	機能の説明
1	スクリーン	システムの前面をカバーする保護スクリーン
2	マイクロフォン配列	音声を拾うマイクアレイ
3	カメラ	プライバシーカバー付きのカメラで、任意でビデオ入力を有効または無効にします
4	スピーカー	音声出力
5	LED インジケータ	システムのステータスと、トラッキングされている発言者の情報を示します

## Poly Studio X50 システムのポート

次の図と表で、Poly Studio X50 システムのポートについて説明します。

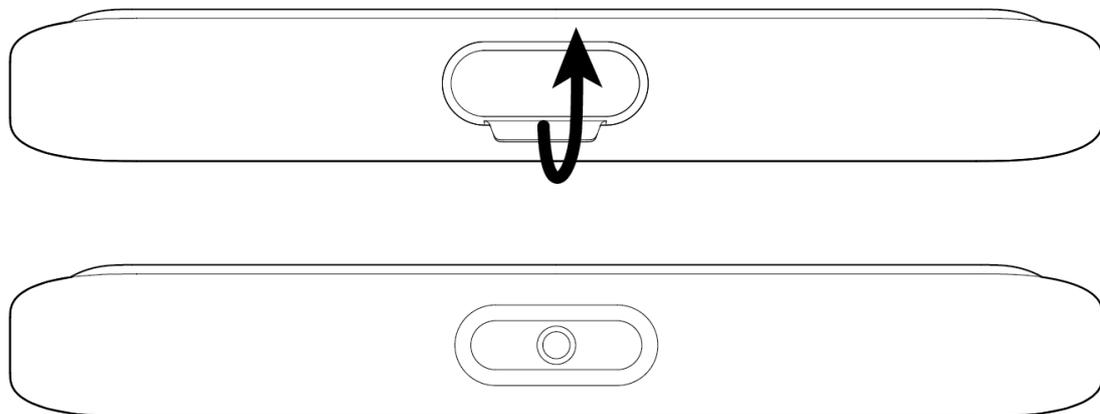


**Table 2-12** Poly Studio X50 システムのポートの説明

参照番号	ポートの説明
1	3.5 mm 音声ライン入力
2	3.5 mm 音声ライン出力
3	Polycom RealPresence Debut 拡張マイク接続
4	USB-C ポート
5	USB-A ポート
6	ファクトリリストア用ピンホール
7	セキュリティロック (システムの背面の平らな面)
8	セカンダリモニタ用 HDMI 出力
9	プライマリモニタ用 HDMI 出力
10	コンテンツ共有用 HDMI 入力 (ノート PC から、など)
11	システムの LAN 接続
12	電源コードポート

## Poly Studio X50 のプライバシーシャッター

Poly Studio X50 には、カメラレンズに装着できる物理的なカバーが付いており、プライバシーを保護できます。



## Poly Studio X30 のハードウェア

次の図は、Poly Studio X30 システムのハードウェア機能を示しています。次の表で、番号が付いているそれぞれの機能について説明します。

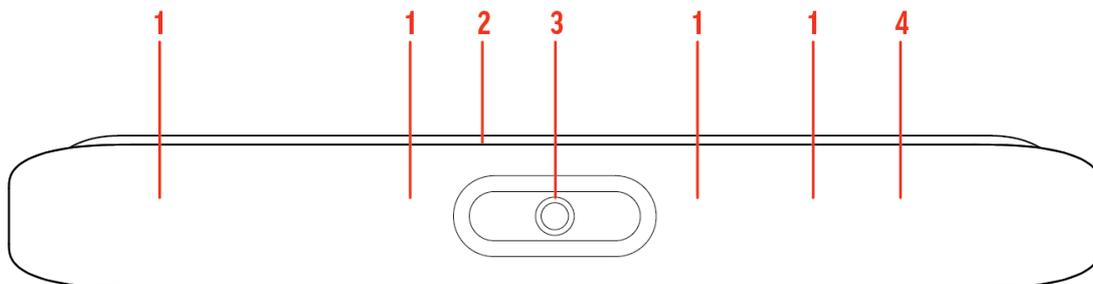


Table 2-13 Poly Studio X30 の機能説明

参照番号	機能	機能の説明
1	マイクロフォン配列	音声を拾うマイクアレイ
2	LED インジケータ	システムのステータスと、トラッキングされている発言者の情報を示します
3	カメラ	プライバシーカバー付きのカメラで、任意でビデオ入力を有効または無効にします
4	スピーカー	モノラル音声出力

## Poly Studio X30 システムのポート

次の図と表で、Poly Studio X30 システムのポートについて説明します。

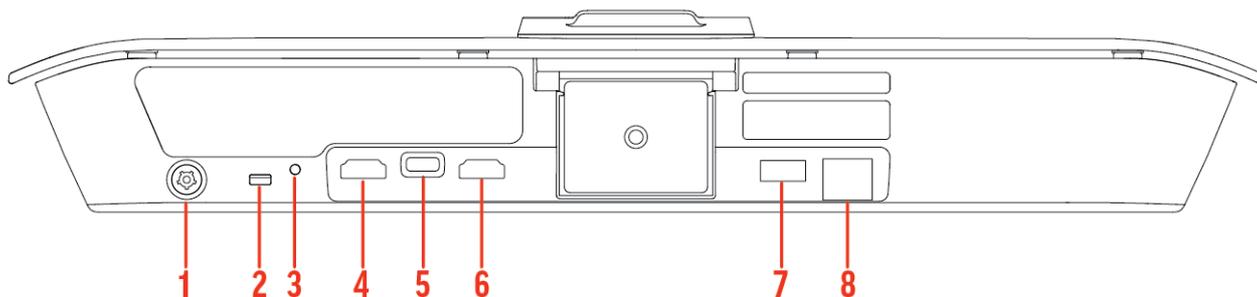
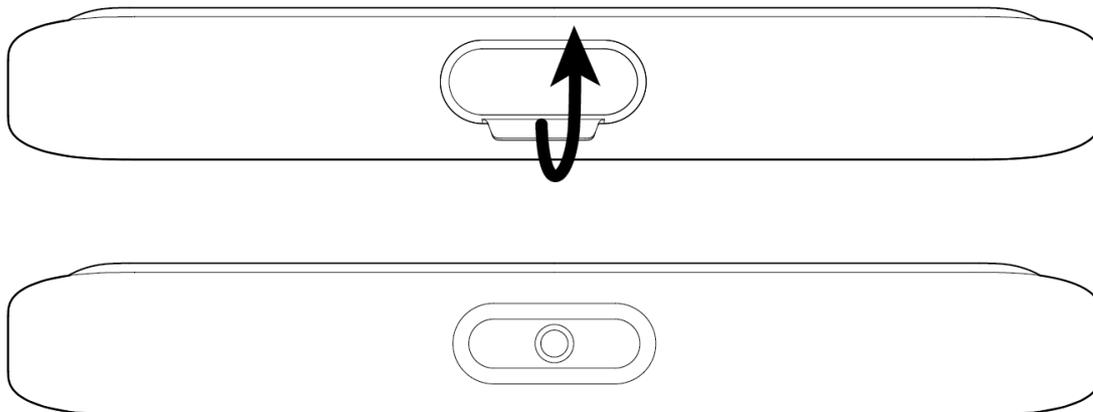


Table 2-14 Poly Studio X30 システムのポートの説明

参照番号	ポートの説明
1	電源コードポート
2	セキュリティロック
3	ファクトリリストア用ピンホール
4	プライマリモニタ用 HDMI 出力
5	USB-C ポート
6	コンテンツ共有用 HDMI 入力(ノート PC から、など)
7	USB-A ポート
8	システムの LAN 接続

## Poly Studio X30 のプライバシーシャッター

Poly Studio X30 には、カメラレンズに装着できる物理的なカバーが付いており、プライバシーを保護できます。



## Poly Studio E70 カメラのハードウェア

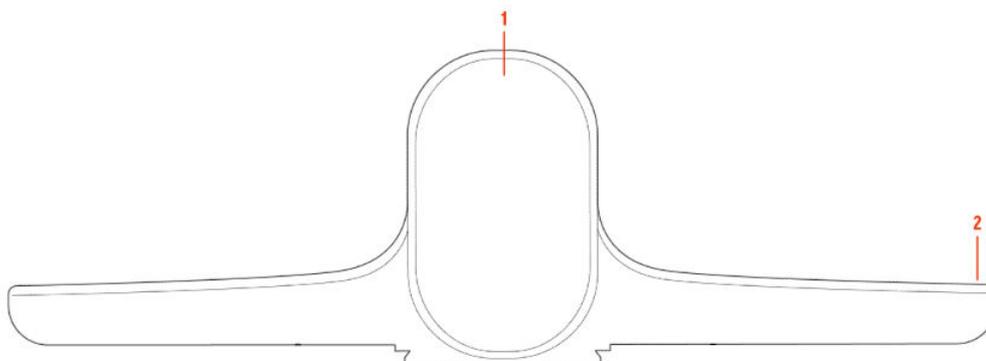


Table 2-15 Poly Studio E70 の機能説明

参照番号	機能	説明
1	デュアルカメラ	カメラの状態に応じて自動的に開閉するプライバシーシャッターが付いたカメラアレイ
2	LED インジケータ	カメラのステータスを示す前面と右側のインジケータ

## Poly Studio E70 のポート

次の図と表で、Poly Studio E70 カメラのポートについて説明します。

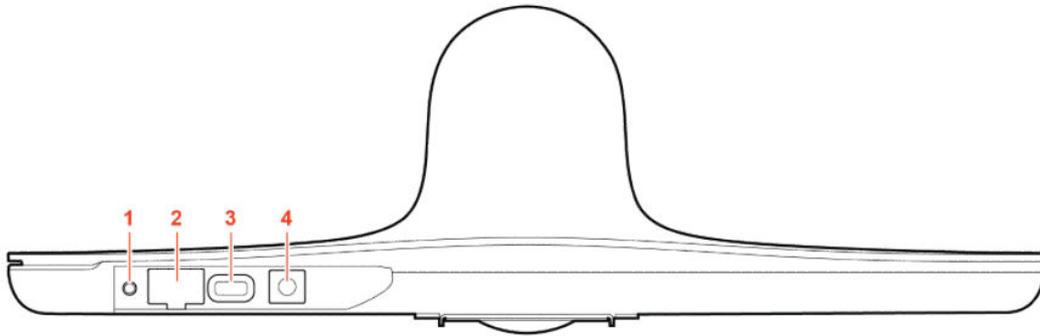


Table 2-16 Poly Studio E70 のポートの説明

参照番号	ポートの説明
1	[リセット]ボタン
2	イーサネットポート(カメラへの電力供給に使用できます)
3	USB-C ポート
4	電源コードポート

## Poly Studio E70 のプライバシー シャッターの動作

プライバシー シャッターは、接続しているビデオ システムの状態に応じて自動的に開閉します。

 **注記：** パートナーアプリケーションによって、シャッターの動作が異なる場合があります。

Table 2-17 Poly Studio E70 シャッターの動作

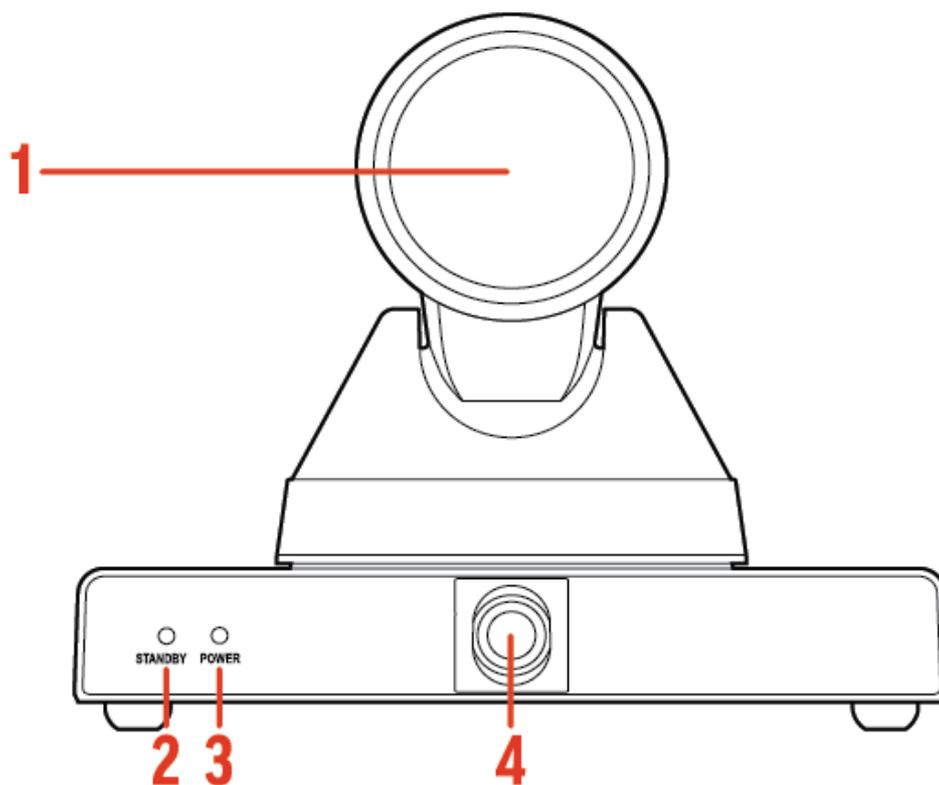
システム イベント	シャッターの動作
システム電源オン	シャッターが開く
システム電源オフ	シャッターが閉まる
	<b>注記：</b> すぐに電源を切ってもシャッターは閉まりません。
システムがスリープモードになるか、デジタルサイネージが起動し、【 Camera Sleep Setting 】(カメラスリープ設定)が【 Save Energy 】(省エネ)に設定される	シャッターが閉まる
システムがスリープモードになるか、デジタルサイネージが起動し、【 Camera Sleep Setting 】(カメラスリープ設定)が【 Fast Wake 】(高速起動)に設定される	シャッターは開いたまま <b>注記：</b> 【 Fast Wake 】(高速起動)が設定されている場合、シャッターは閉じません。
システムを起動	シャッターが開く
システム起動時、Studio E70 がプライマリ カメラとして設定されていない場合	シャッターは閉じたまま
Studio E70 をプライマリ カメラとして選択する	シャッターが開く
Studio E70 がプライマリ カメラではなく、5分間アイドル状態の場合	シャッターが閉まる

**Table 2-17 Poly Studio E70 シャッターの動作 (続き)**

システム イベント	シャッターの動作
システムが着信を受信する	シャッターが閉じている場合は、着信が応答されるまで閉じたまま
システムがビデオを送信中	シャッターが開く
システムはアクティブな通話中で、ビデオがミュートされている	シャッターが開く

## Poly Studio E60 カメラのハードウェア

以下の図と表で、Poly Studio E60 カメラのハードウェア機能について説明します。



**Table 2-18 Poly Studio E60 の機能説明**

参照番号	機能	説明
1	光学ズームレンズ	光学 12 倍およびデジタルズーム 16 倍光学ズームレンズ、取り外し可能なプライバシーシャッター付き
2	スタンバイ LED インジケータ	デバイスのステータスを示します
3	電源 LED インジケータ	デバイスのステータスを示します
4	AI レンズ	固定 AI レンズは、107 度の視野内に収まっている参加者を検出し、光学ズームレンズを作動させて室内の人々を追跡するために使用されます。

## Poly Studio E60 のポート

次の図と表で、Poly Studio E60 カメラのポートについて説明します。

- 重要：** イーサネットポートを使用して Poly Studio E60 に電力を提供する場合、イーサネットポートは 30W PoE+ Type 2/Class 4 電源を供給できる必要があります。ポートの電圧範囲は 50V ~ 57V である必要があります。デバイスへの最大電力は 25.5W で、デバイスへの電圧範囲は 42.5V ~ 57V です。

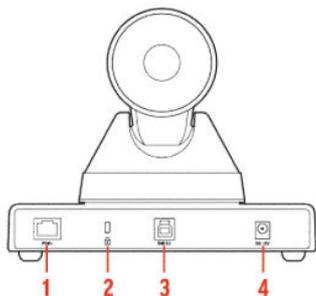


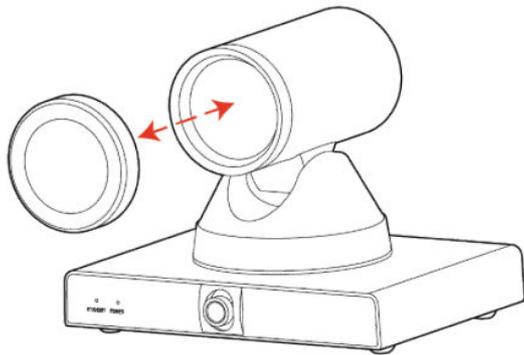
Table 2-19 Poly Studio E60 のポートの説明

参照番号	機能	機能の説明
1	Power over Ethernet+ (PoE+) ポート	Poly Studio E60 カメラに電力を供給します
2	ケンジントンセキュリティスロット	ケンジントンロック (別売) でデバイスを保護します
3	USB 3.0 Type-B ポート	USB 3.0 Type-B to USB 3.0 Type-A ケーブルを使用して、カメラをビデオ会議システムまたは PC に接続します
4	12V DC 電源ポート	オプションの電源ケーブル (別売) を使用してカメラを電源に接続します

## Poly Studio E60 のプライバシーシャッターの動作

Poly Studio E60 カメラにはカメラレンズを遮る物理的なカバーが付いており、プライバシーを保護することができます。

Figure 2-1 Poly Studio E60 のプライバシーカバー



ビデオ会議を開始する前にプライバシーカバーを手動で取り外し、ビデオを表示します。使用していないときは、プライバシーカバーを元に戻して、カメラレンズを覆います。

## LED ステータスインジケータ

次のトピックでは、システムでのLEDの動作について説明します。以下の表に、各LEDインジケータとその関連ステータスを示します。

### Poly Studio G62 のLED の動作

Poly Studio G62 システムの前面左隅にあるLEDで、システムの状態を確認できます。



Table 2-20 Poly Studio G62 のLED の動作

インジケータ	ステータス
白色で点滅	起動中
白色で点灯	電源がオン
緑色で点灯	通話中
オレンジ色で点滅	更新が進行中です
オレンジ色で点灯	スリープ中
赤色で点滅	正常な動作を妨げるエラー
赤色で点灯	マイクのミュート

### Poly G7500 システムのLED ステータスインジケータ

コーデックの前面右隅にあるLEDで、システムの状態を確認できます。

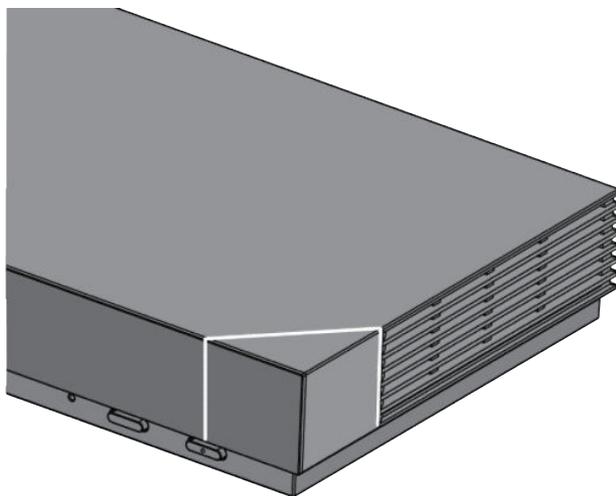


Table 2-21 Poly G7500 システムのLED ステータスインジケータ

インジケータ	ステータス
白色で点滅	起動中

**Table 2-21 Poly G7500 システムの LED ステータスインジケータ (続き)**

インジケータ	ステータス
白色で点灯	正常に動作中
緑色で点灯	通話中
オレンジ色で点滅	更新が進行中です。
オレンジ色で点灯	スリープ中
赤色で点滅	正常な動作を妨げるエラー
赤色で点灯	マイクのミュート

## Poly Studio X72 システムと Poly Studio X70 システムの LED ステータスインジケータ

システムの右側にある LED を見れば、システムの動作を確認できます。

**Table 2-22 Poly Studio X72 と Poly Studio X70 の LED インジケータとステータス**

インジケータ	ステータス
白色で点灯	デバイスはアイドル状態でスタンバイ状態です
白色で点滅	ブート開始を実行中です
オレンジ色で点滅	ファームウェアアップデートまたはファクトリリストアを実行中です
青色と白色の点滅	Bluetooth デバイスとのペアリング
青で点灯	Bluetooth ペアリング完了
緑色で点灯	アクティブな通話を実行中です
赤色で点灯	オーディオがミュートされています

## Poly Studio X50 および Poly Studio X30 システムの LED ステータスインジケータ

システムのカメラ上部に LED ライトバーがあり、システムの動作を確認できます。

**Table 2-23 Poly Studio X50 および Studio X30 の LED インジケータとステータス**

インジケータ	位置	ステータス
白色で点灯	すべて	ブートの初期化が進行中
青色で点滅	中央の 12 個	Bluetooth 検出
3 秒間青色で点灯	すべて	Bluetooth ペアリング完了
緑色で点滅	すべて	着信中
緑色で点灯	すべて	発信

**Table 2-23** Poly Studio X50 および Studio X30 の LED インジケータとステータス (続き)

インジケータ	位置	ステータス
緑色で点灯	4つまたは8つ (中央の場合)、トラッキングされている発言者またはカメラの方向を示す	作動中  次のような場合に、サポートされているアプリケーションのライトは緑色です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>グループのフレーミングと話者トラッキングモードで人物をトラッキングしている</li> <li>パン/チルト/ズーム (PTZ) モードでカスタマイズしたカメラの向きを示している</li> </ul>
オレンジ色で点灯	中央の12個	スタンバイ  システムがスリープモードになっており、アクティブなビデオ出力はありません
赤色で点灯	中央の12個	通話の保留
緑色で点灯	中央の12個	保留中の通話 (相手側)
3秒間白色で点灯	中央の12個	プリセットを保存中
赤色で点灯	すべて	マイクのミュート
赤色で点灯	中央の4つ	カメラがミュートされています ミュートされたマイクのLEDがカメラのミュートLEDよりも優先されます
オレンジ色で点滅	すべて	ファームウェアアップデートを実行中です
赤色で点滅	すべて	正常な動作を妨げるエラー
オレンジ色で点滅	12回交互に点滅	POSTシーケンスを実行中、少なくとも1つのテストで警告エラーが発生しています。オレンジ色の点滅が続くものの、重大なエラーが発生しなければ、POSTシーケンスの完了後、システムが初期化されます。

## Poly Studio E70 カメラの LED ステータスインジケータ

カメラの前面と右側には、Poly Studio G62 システム、Poly G7500 システム、Poly Studio X システムに接続されたときのカメラの動作を確認できる LED インジケータがあります。

**Table 2-24** Poly Studio E70 カメラシステムの LED ステータスインジケータ

色とパターン	ステータス
白色で点滅	ブート開始が進行中
白色で点灯 (輝度 50%)	電源は入っているが、ビデオシステムから切断されている スリープモード
白色で点灯 (輝度 100%)	電源が入っており、ビデオシステムに接続されている
緑色で点灯	通話中またはカメラがアクティブ

Table 2-24 Poly Studio E70 カメラシステムのLED ステータスインジケータ (続き)

色とパターン	ステータス
オレンジ色で点滅	ファームウェアアップデートまたはファクトリリセットを実行中
青で点滅	カメラはIPペアリングです。  <b>注記：</b> LEDが青色で点滅し続ける場合は、Poly Studio E70カメラのプラグを取り外してから再接続します。

## Poly Studio E60 のLED インジケータ

カメラの下に2つのLED ステータスインジケータがあり、デバイスの動作を確認できます。[[電源]] LEDは白色、[[スタンバイ]] LEDはオレンジ色です。

LED ステータスの詳細を下表に示します。

Table 2-25 Poly Studio E60 のLED の動作

スタンバイ LED の動作	電源 LED の動作	デバイスのステータス
無色	無色	デバイスの電源がオフ カメラは壁の方を向いています
無色	白色で点滅	デバイスが起動中 カメラは壁の方を向いています
無色	白色で点灯	デバイスに電源が入り、スリープモード解除中です カメラは会議室の方を向いています
オレンジ色で点灯	無色	デバイスがスタンバイモードになっています カメラは壁の方を向いています
オレンジ色で点滅	無色	ファームウェアが更新中です カメラは壁の方を向いています
無色	白色で点滅	カメラとビデオ会議システムがペアリング中です カメラは会議室の方を向いています

## システムの電源をオン/オフする

電源に接続すると、システムの電源がオンになります。

システムの電源をオフにする、または再起動する場合は、以下の事項をお勧めします。

- メンテナンス作業中(たとえば、ソフトウェアアップデートが進行中)は、システムを再起動したり、電源をオフにしないでください。
- システムの再起動が必要な場合は、システム Web インターフェイス、Poly Lens、RestAPI、Telnet、または SSH を使用してください。システム再起動時の、電源の取り外しは極力お控えください。

# システムをナビゲートする

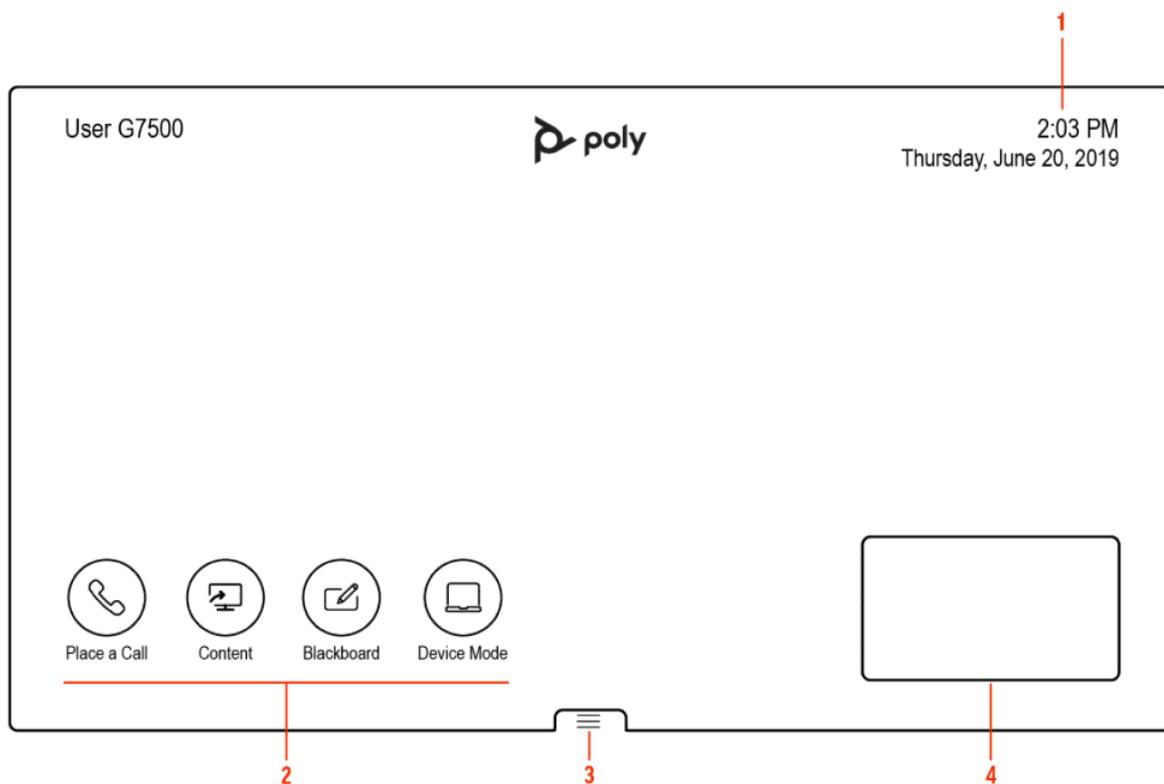
システムにあるアイコンおよびユーザー画面で、システムに関する重要な情報にアクセスして確認できます。

## ホーム画面

ホーム画面は、システムモニターで最初に表示される画面です。この画面から、多くのシステム機能にすばやくアクセスできます。

 **注記：** システムの設定によっては、画面の一部の要素が異なる場合があります。

### ホーム画面



参照番号	説明
1	システム情報バー。日付/時刻やシステム名などの詳細が表示されます。
2	通話の発信、コンテンツの共有、ブラックボードの作成、または Poly デバイスモードの起動を行うためのタスクボタン。
3	その他の機能にアクセスするためのメニュー。
4	ローカルカメラ表示。

### ホーム画面の要素

非アクティブで読み取り専用の次の要素の一部は、システム設定によっては表示されない場合があります。

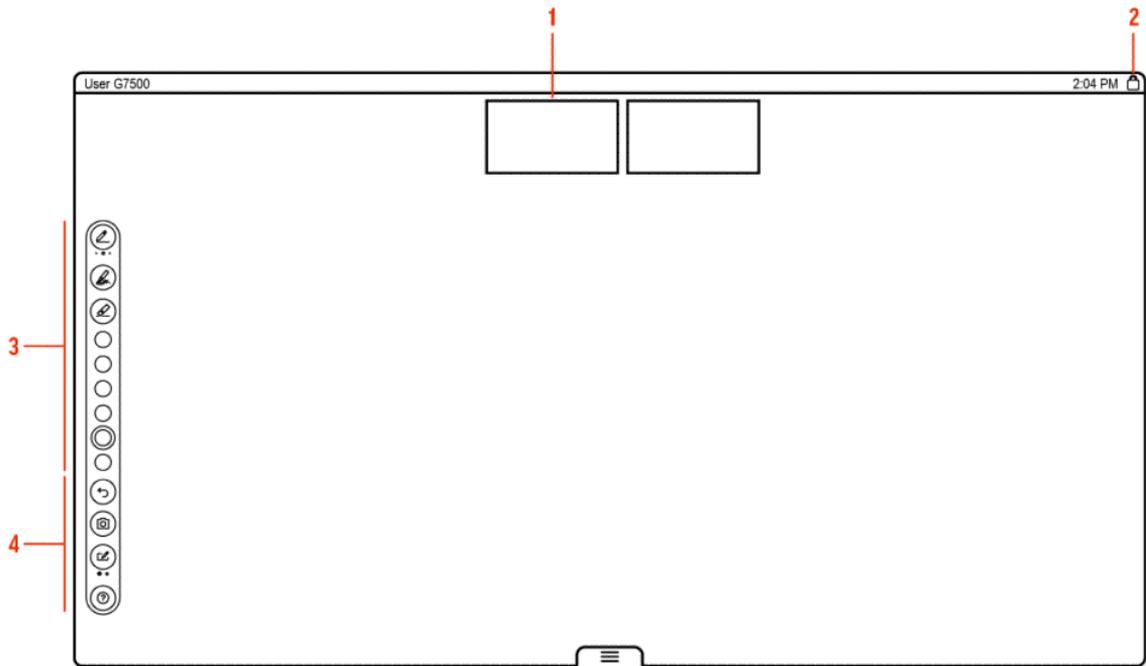
Table 2-26 要素の説明

要素	説明
Name	システム管理者によって指定された内容を示す名前。システムに接続するときに使用されます。
セキュリティコード	コンテンツ共有のための接続を試行すると表示されます。この4桁のコードを使用すると、Polycom Content App、Airplay、または Miracast 認定デバイスによるワイヤレス接続を設定できます。
IPアドレス	システムに設定されているIPアドレス、SIP、H.323、セカンダリネットワーク。
現在の時刻	ローカルのタイムゾーン。
現在の日付	ローカルのタイムゾーンの日付。
警告 	完全に機能することを妨げるおそれのある問題が、システムによって1つまたは複数検出されたことを示す通知。
カレンダーまたはお気に入りカード	カレンダーまたはお気に入りを表示します。
電話をかける 	通話画面が開き、通話をダイヤルする、カードを選択して番号にダイヤルする、お気に入りにアクセスする、カレンダーを表示することができます。
コンテンツ 	コンテンツがある場合、使用可能なコンテンツのリストが表示されます。コンテンツがない場合は、この機能により、HDMI、Polycom Content App、Airplayまたは Miracast 認定デバイスを使用してコンテンツ共有をセットアップする方法を説明するヘルプ画面が開きます。
ブラックボード 	注釈や図を共有できるブラックボードを新規作成します。
Poly デバイス モード 	Poly デバイス モードを起動します。これにより、Poly ビデオシステムを、接続されたノート PC の外部カメラ、マイク、スピーカーとして使用できます。
メニュー 	通話、コンテンツの共有、カメラの制御、その他の機能の、新しいメニュー選択項目が開きます。

## コンテンツ画面

コンテンツ画面では、会議でのコンテンツの共有やコンテンツへの注釈付けを行うことができます。

## コンテンツ画面



参照番号	説明
1	通話参加者のカメラ表示。
2	システム情報バーに、システム名や時刻などのシステム情報が表示されます。
3	コンテンツ ツールバーのツールを使用すると、コンテンツへの注釈付けやコンテンツの操作ができます。
4	コンテンツの管理機能。

## Poly IR リモコン ボタンの機能

G7500 または Studio X システムに Poly IR レシーバーを接続すると、Poly IR リモコンでシステムを操作できます。

次のイラストと表は、Poly IR リモコンのボタンと機能です。

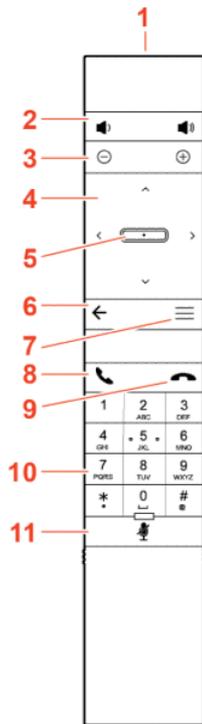


Table 2-27 IR リモート ボタンの機能

項目	説明	機能
1	IR LED	IR 信号を IR レシーバーに送信する
2	音量	音量を調節する
3	カメラズーム	カメラをズームインまたはズームアウトする
4	ナビゲーションコントロール	ユーザー インターフェイスを操作する
5	選択	ユーザー インターフェイスで項目を選択する、またはオン/オフを切り替える
6	戻る矢印	前の画面に戻ります
7	メニュー	Poly ビデオ モードでのみ、設定とカメラコントロールの表示/非表示を切り替え
8	通話	通話画面を表示する、または着信に応答する
9	通話終了	アクティブな通話を終了する、着信を拒否する
10	ダイヤルパッド	番号をダイヤルする
11	ミュート	システム マイクをミュートまたはミュート解除する

## Bluetooth リモコン ボタンの機能

Poly Bluetooth リモコンを Poly Studio G62 システム、Poly G7500 システム、または Poly Studio X システムとペアリングすると、リモコンを使用してシステムを操作できます。

次のイラストと表は、Bluetooth リモコンのボタンと機能です。下記の機能は Poly ビデオ モード使用時のものです。

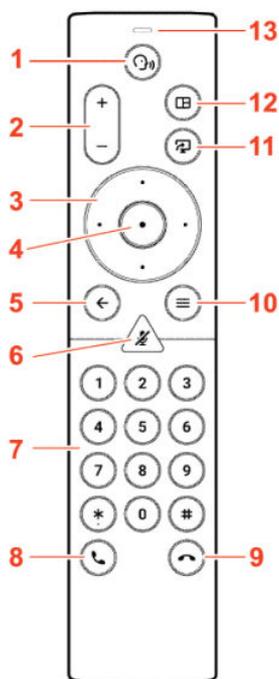


Table 2-28 IR リモート ボタンの機能

項目	説明	機能
1	音声機能	将来実装される予定の機能
2	音量またはズーム	音量を調整する、またはカメラ モードでズームインおよびズームアウトする
3	ナビゲーションコントロール	画面の操作 カメラ モードで、カメラのパンとチルトを制御する
4	選択	ユーザー インターフェイスで項目を選択する、またはオン/オフを切り替える
5	戻る矢印	前の画面に戻ります
6	ミュート	システム マイクをミュートする 長押しで、リモコンとシステムをペアリングする
7	キーパッド	番号をダイヤルする 通話中にカメラ プリセットを選択する
8	コールボタン	通話画面を表示する、または着信に応答する
9	通話終了	アクティブな通話を終了する、着信を拒否する、または会議を終了する
10	メニュー	利用可能なシステム メニューを開き、機能にアクセスする
11	コンテンツを提示する	ホーム画面で、コンテンツ ヘルプ画面を表示する 会議中にコンテンツ トレイを開き、共有する利用可能なコンテンツを選択する

Table 2-28 IR リモート ボタンの機能 (続き)

項目	説明	機能
12	レイアウト	レイアウト画面を開き、2人以上の参加者の画面上の表示方法を選択する
13	音声アシスタントのマイク	将来実装される予定の機能

## システムのスリープモードを解除する

操作しない状態が一定時間経過すると、システムはスリープモードになります (管理者によって設定されている場合)。システムを起動するには、タッチモニタ、Poly TC8、または Poly Bluetooth リモコンを使用します。

■ 以下のいずれかを実行します。

- タッチ モニターを使用する場合は、プライマリ画面をタップします。
- TC8 を使用する場合は、画面をタップします。
- Poly Trio を使用する場合は、画面をタップします。
- リモコンの任意のボタンを押します。

## アクセシビリティ機能

Poly 製品は、障害のあるユーザが利用できるように対応したさまざまな機能を搭載しています。

 **注記：** Poly Studio G62 のアクセシビリティ機能には、接続されているカメラ、マイク、スピーカー、モニタなど、システムの機能に必要な周辺機器が含まれます。

### 聴覚障害者ユーザ

システムには、聴覚障害者がシステムを使用するためのアクセシビリティ機能が搭載されています。

聴覚障害者向けアクセシビリティ機能を下表に示します。

**Table 2-29** 聴覚障害者向けアクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能	説明
ビジュアル通知	ステータスおよびアイコンのインジケータが、通話の着信、発信、アクティブ、保留中を通知します。また、インジケータは、デバイスのステータスや機能が有効になったタイミングも知らせます。
ステータスインジケータのランプ	システムとそのマイクでは LED を使用して、マイクのミュート状態などのステータスを表示します。
調整可能な通話音量	通話中に、デバイスの音量を増減させることができます。
自動応答	通話に自動応答するようにシステムを設定できます。

### 視覚障害者ユーザ

システムには、視覚障害者がシステムを使用するためのアクセシビリティ機能が搭載されています。

視覚障害者向けアクセシビリティ機能を下表に示します。

**Table 2-30** 視覚障害者向けアクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能	説明
自動応答	通話に自動応答するようにシステムを設定できます。
自動応答時ミュート	自動応答通話をミュートするように、システムを設定できます。
着信音	着信通話時に呼出音が鳴ります。
調整可能なバックライト設定	バックライトの明るさ設定を調整することによって、画面の明るさを変更することができます。
ビジュアル通知	ステータスおよびアイコンのインジケータが、通話の着信、発信、アクティブ、保留中を通知します。また、インジケータは、デバイスのステータスや機能が有効になったタイミングも知らせます。
参加トーンおよび退席トーン	会議通話への参加または退席があったときに、トーン音を再生します。
エンボスボタン	リモコンには、番号のダイヤルなど、システムで一般的なタスクを実行するための、エンボス プッシュ ボタンがあります。

### 身体に障害のあるユーザ

システムには、身体に障害のあるユーザがさまざまなシステム機能を実行できるようにアクセシビリティ機能が搭載されています。

身体障害者向けアクセシビリティ機能を下表に示します。

**Table 2-31** 身体障害者向けアクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能	説明
リモコン	Bluetooth リモコンを使用すると、システムのコントロールや、通話の発信、共有セッションの開始、一部の設定などのタスクを実行できます。
代替コントロールインターフェイス	操作が制限される障害のある方々向けに、接続したビデオ会議システムの代替コントロールインターフェイスを備えています。
Poly TC10 または Poly TC8	Poly TC10 または Poly TC8 を使用すると、システムのコントロールや、通話の発信などのタスクを実行できます。
自動応答	通話に自動応答するようにシステムを設定できます。
個人用デバイスから通話を発信する	管理者の認証情報があれば、ユーザ自身のデバイスで、システムの Web インターフェイスにワイヤレスでアクセスし、通話の発信、連絡先やお気に入りの管理を行うことができます。
タッチ対応モニタのサポート	システムにタッチ対応モニタが接続されている場合、選択、スワイプ、押すという操作で機能を実行したり、有効にしたりできます。選択、スワイプ、押すという操作で機能を実行したり、有効にしたりできます。
取り付けおよびディスプレイの設定が柔軟	製品を自由に、さまざまな構成で取り付けまたはディスプレイできます。タッチコントロールを操作するために必要な強度は最小限です。

---

## 3 通話の発信

システムで通話する方法はいくつかあります。通話するには、連絡先の名前または番号を入力する、ディレクトリに登録されている連絡先を選択する、お気に入りまたは最近の通話に発信する、またはスケジュールされている会議に参加します。

次の方法を使用して通話できます。

- ダイヤルパッドを使用して発信する
- 連絡先に発信する
- 使用頻度の高い番号に発信する
- 最近の通話に発信する
- お気に入りの連絡先に発信する
- カレンダーから会議に参加する
- USB 接続の Windows または Mac デバイスを使用した発信

## 通話を発信する

オンスクリーン キーボードを使用して、音声通話、ビデオ通話、会議通話を発信できます。

通話の発信時には、次のダイヤル形式を使用します。

- IPv4 アドレス: 192. 0. 2. 0
- ホスト名: room. company. com
- SIP アドレス: user@domain. com
- H.323 または SIP 内線番号: 2555
- 電話番号: 9782992285

## 電話をかける

連絡先に、音声通話またはビデオ通話を発信できます。

1. 【通話の発信】に移動します。
2. [[ダイヤルパッド] ] 画面で、スライダを [[音声] - 3. ダイヤルパッドで番号を入力するか、[[キーボード] - 4. 【通話】を選択します。

## 着信応答

システムによって着信通話がどう処理されるかは、管理者がシステムをどのように設定したかによって異なります。システムでは、自動的に通話に応答するか、手動で応答するように指示するメッセージを表示するかのいずれかの処理が行われます。

- 着信通話の通知を受け取った場合、[[応答]]を選択します。

## 着信を無視する

着信通話にシステムが自動応答しない場合は、通話に応答する代わりに無視することができます。

- 着信通話の通知を受け取った場合、[[無視]]を選択します。

## 通話の終了

通話が完了したら、通話を終了します。ブラックボード、ホワイトボード、スナップショットなどのコンテンツがある場合、保存するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

- 通話中に、次のいずれかを行います。
  - リモコンの [[通話終了]   - 画面で、[[メニュー] 

## Trio C60 を使用してパスワード保護された Zoom 会議に通話を発信する

Poly ビデオ モードやベアリングされた Trio C60 を使用して、パスワード保護された Zoom 会議に通話を発信する場合に、これらの入力オプションを使用します。

参加する前に、会議のパスワードを用意してください。

 **重要：** パスワードをダイヤル文字列とは別に入力するオプションを選択した場合、Trio C60 システムにパスワードを入力する前に、ポンド記号 (#) を入力します。ポンド記号を入力しないと、通話はつながりません。

1. Trio C60 コントローラで **[[ダイヤルパッド]]**  を選択します。
2. 以下のいずれかを実行します。
  - Zoom Rooms のダイヤルシーケンスを入力します。パスワードを求められたら、ポンド記号を押してから会議のパスワードを入力します。  
たとえば、「<meetingID>@zoomcrc.com」と入力してから、#<password>を入力します。
  - Zoom Room の会議のパスワードをダイヤルシーケンスの一部として入力します。  
たとえば、「<meetingID>. <password>@zoomcrc.com」と入力します。
3. **【通話】** を選択します。

## 連絡先に電話する

システムでは、連絡先、最近の通話、通話回数の多い連絡先にアクセスして、通話することができます。

管理者によって設定されている場合、*[通話の発信]*画面に連絡先が表示されます。連絡先カードには、以下の情報が表示されます。

- 連絡先の氏名
- 連絡先の電話番号
- 連絡先の電子メールアドレス
- 連絡先のIPアドレス

## 連絡先に発信する

連絡先にすばやくダイヤルするには、連絡先を検索し、検索結果から連絡先カードを選択します。連絡先カードには、通話回数の多い連絡先、ディレクトリの連絡先、お気に入りが表示されます。

1. コントローラーまたはリモコンで、**【電話をかける】**>**【連絡先】**の順に選択します。
2. 検索フィールドで、オンスクリーンキーボードで文字または番号を入力し、**【検索】**を選択します。
3. 連絡先カードを選択すると、連絡先の詳細が表示されます。
4. **【通話】**を選択します。

## 通話回数の多い連絡先に通話する

通話を発信するときに、システムは頻繁に使用される連絡先を学習し、それらをリストに表示します。

1. タッチスクリーンまたはリモコンで、**【電話をかける】**を選択します。
2. **【通話回数の多い連絡先】**リストで、連絡先カードを選択します。  
通話が自動的にダイヤルされます。

## 最近の通話に発信する

リスト(最新のものから順に整理されている)から、最近の通話にすばやく通話を発信できます。

1. **[[通話の発信]]**>**[[最近]]**の順に移動します。
2. 最近の通話のリスト(日付順にソートされている)をスクロールし、連絡先を選択します。  
通話が自動的にダイヤルされます。

## お気に入りの連絡先に発信する

非常に頻繁に通話する連絡先の短いリストにすばやくアクセスするには、お気に入りを作成します。

システムの設定に応じて、*[お気に入り]*画面、*[連絡先]*画面、ホーム画面にお気に入りが表示されます。お気に入りを判別して通話しやすいように、連絡先の名前の横に星印アイコンが追加されます。

### 連絡先をお気に入りに登録する

頻繁に通話する連絡先を表示するお気に入りを作成します。

1. **【通話の発信】**>**【連絡先】**の順に移動します。
2. 連絡先カードを選択し、**【お気に入り】**を選択します。

連絡先は、星印アイコンとともに**【連絡先】**および**【お気に入り】**リストに表示されます。

### 連絡先のお気に入りを解除する

**【お気に入り】**リストから連絡先を削除するには、連絡先のお気に入りを解除します。

1. **【通話の発信】**>**【お気に入り】**の順に移動します。
2. お気に入りカードを選択し、**【お気に入りの解除】**を選択します。

連絡先が**【お気に入り】**リストから削除されます。

### お気に入りの連絡先に発信する

連絡先にすばやく通話を発信するには、お気に入りカードを選択します。

1. *[お気に入り]*、*[連絡先]*、またはホーム画面で、お気に入りカードを選択します。
2. **【通話】**を選択します。

## カレンダーから会議に参加する

ホーム画面で、画面上の会議カード(設定されている場合)を使用して、カレンダーから会議に直接参加できます。

 **注記:** システムのカレンダーリングを管理者が設定していない場合、会議カードはシステムに表示されません。会議に参加するには、手動でダイヤルします。

### 会議カード

設定されている場合、会議カードはホーム画面に表示されます。会議カードにアクセスすると、会議の詳細を閲覧できます。

会議カードには、次のスケジュール情報が表示されます。

- 終日の会議は、会議カードの先頭に表示されます。
- その日の後にスケジュールされている会議については、「**[ 時刻/日 ]まで予定なし**」というメッセージと、予定されている会議カードが表示されます(スケジュールされた時刻と日付の順)。
- その週の後にスケジュールされている会議については、次にスケジュールされている会議の日まで、「**[ 時刻/日 ]まで予定なし**」というメッセージが表示されます。
- 現在の週にスケジュールされている会議がない場合は、「**会議はありません**」というメッセージが表示されます。

### 会議カードを閲覧する

ホーム画面で、カレンダー イベントの詳細を示す会議カードを閲覧できます。会議カードには、会議の時間、主題、主催者が表示されます。

 **注記:** プライベートミーティングには、**[ プライベート ミーティング ]**というラベルが付けられています。この場合は例外として、会議の詳細は非表示になっています。

■ 以下のいずれかを実行します。

- 会議情報を表示するには、会議カードを選択し、**[ 情報 ]**を選択します。
- 予定されているスケジュール済み会議を表示するには、カードを選択して右方向にスクロールします。

### 会議カードから会議に参加する

ホーム画面で、会議に参加するオプションとして会議カードを選択できます。

会議主催者が通話情報をカレンダー イベントに追加しており、管理者がカレンダーリングを設定している場合、システムで自動ダイヤルがサポートされます。

■ 以下のいずれかを実行します。

- 現在の会議カードで、**[ 参加 ]**を選択します。
- 会議カードに通話情報が含まれていない場合は、**[ 詳細... ]**を選択して、ダイヤルパッドを表示します。番号をダイヤルして会議に参加します。

## 重複している会議に参加する

同じ時刻に2つ以上の会議をスケジュールした場合、それらの会議は【オーバーブッキング】と表示されます。それぞれの会議カードを使用すると、いずれかの会議に参加できます。

1. 重複している会議カードを選択します【情報】を選択します。  
個々の会議カードが表示されます。
2. いずれかの会議カードを選択し、【参加】を選択して会議に接続します。

## パスワード保護された会議に参加する

会議によっては、参加にパスワードが要求される場合があります。

パスワード保護された会議のパスワードを用意したうえで、参加します。会議のパスワードが分からないという場合は、パスワードについて会議主催者に問い合わせてください。

---

 **注記：** 会議カードには、会議がパスワードで保護されているかどうかは表示されません。

---

1. 以下のいずれかを実行します。
  - 会議に手動でダイヤルインします。
  - 会議カードから会議に参加します。
2. 会議のパスワードを入力し、【参加】を選択します。

パスワードに誤りがある場合は、パスワードを求めるプロンプトがもう一度表示されます。

---

## 4 コンテンツの共有

コラボレーション環境を向上させるため、ドキュメント、図、ビデオ、ブラックボード、ホワイトボードなどを他の参加者と共有できます。

PCや認定デバイスを使用して、通話または会議のメンバー全員とコンテンツを共有できます。

## PC またはデバイスのコンテンツを共有する

PC のコンテンツを共有できます。また、アプリケーションを使用して、他のデバイスのコンテンツをストリーミングできます。

コンテンツを共有するには、次の方法を使用します。

- Poly G7500、Poly Studio G62、および Poly Studio X シリーズ システムにワイヤレスで接続する Polycom Content App
- Airplay または Miracast の認定デバイスでのスクリーン ミラーリング
- HDMI を使用してシステムに直接接続されている PC またはデバイス

システムでは、通話外の場合は最大 4 つのコンテンツ ソース、通話中の場合は 3 つのコンテンツ ソースを同時に使用できます(ソースには、こちら側のデバイスから、または相手側の参加者のデバイスから、共有されたコンテンツが含まれます)。

たとえば、3 つのコンテンツソースを含む通話中に、Miracast を使用してデスクトップを共有すると、セッションで最も古いワイヤレスのコンテンツソース、または相手側のコンテンツソースがそのデスクトップのコンテンツで置き換えられます。ただし、HDMI コンテンツは一切置き換えられません。

 **重要：** コンテンツを共有する前に、プライバシーを保護するように注意を払ってください。たとえば、会議の参加者と画面を共有する前に、デバイスの画面ロック機能を無効にします。

### Polycom Content App

Polycom Content App を使用すると、IP ネットワークを介して Poly G7500、Poly Studio G62、および Poly Studio X シリーズ システムに接続されている PC のコンテンツを共有できます。

このアプリケーションの使用方法については、『[Polycom Content App ユーザーガイド](#)』を参照してください。

### Airplay または Miracast の認定デバイスのコンテンツをキャストする

Airplay または Miracast の認定デバイスのコンテンツを共有して、システム上で表示させることができます。

1. デバイスで Airplay または Miracast にアクセスします。
2. 使用可能なデバイスのリストから、ご使用のシステムの名前を選択します。
3. Airplay または Miracast の認定デバイスのコンテンツを共有して、システム上で表示させることができます。

ご使用のデバイスのキャスト情報については、製品マニュアルを参照してください。

4. プロンプトが表示されたら、**[ホーム]**画面に表示されているセキュリティ コードを入力します。

### HDMI 接続を使用してコンテンツを共有する

HDMI 接続を使用して、デバイスのコンテンツを共有します。この方法では、ワイヤレス サービスを使用した接続は必要ありません。

- デバイスをビデオシステムの HDMI 入力ポートに接続します。

デバイスとの接続を切断するまで、HDMI コンテンツは表示され続けます。デバイスが接続されている間にビデオシステムを再起動した場合、HDMI コンテンツは再起動後も表示され続けます。

# ブラックボードまたはホワイトボードでコンテンツを共有する

ブラックボードまたはホワイトボードは、書き込み可能な空白のキャンバスとして使用して、他の人とアイデアを共有してコラボレーションできます。

 **注記：** [[ブラックボード]]



## ブラックボードまたはホワイトボードを追加する

ブラックボードやホワイトボードは、いつでも作成できます。

 **注記：** アクティブなボードに注釈が含まれていない場合は、新しいボードを追加することはできません。

使用できるブラックボードまたはホワイトボードの数には上限があります。上限の数に達すると、プロンプトが表示されます。

1. 次のいずれかを行います。
  - 通話外: ホーム画面で [[ブラックボード]] を選択します。
  - 通話中: [[メニュー] ≡] > [[コンテンツ]] > [[ブラックボード]] の順に選択します。
2. 別のボードを追加するには、以下のいずれかを行います。
  - ブラックボードを追加するには: ツールバーで [[ブラックボード]] を選択します。
  - ホワイトボードを追加するには: ツールバーで [[ブラックボード]] を長押しし、[[ホワイトボード]]  を選択します。

 **注記：** 最後に選択したタイプが、デフォルトのボードタイプになります。

## コンテンツのスナップショットを撮影する

現在のコンテンツの写真を撮影できます。撮影したら、Polycom Content App を使用して、スナップショットに注釈を付けたり、ダウンロードしたりできます。

スナップショット数には上限があります。スナップショット数の上限に達すると、プロンプトが表示されます。

 **注記：** 通話またはコンテンツ共有セッションを終了すると、スナップショットおよび関連するスナップショットデータがすべて消去されます。

- ボードまたはコンテンツが画面に表示された状態で、[[スナップショット]]  を選択します。

コンテンツがキャプチャされ、*Snapshot-1* として表示されます。各スナップショットに連番を使用した名前が付けられていきます。

## スナップショットまたはコンテンツを削除する

必要のなくなったスナップショットまたはコンテンツは削除できます。

 **注記：** 通話またはコンテンツ共有セッションを終了すると、スナップショットおよび関連するスナップショットデータがすべて消去されます。

1. コンテンツトレイ内でスナップショットまたはコンテンツを選択します。
2. 赤色の【X】を選択します。
3. **[[削除]]**を選択します。

## コンテンツセッションを終了する

コンテンツセッションを終了すると、表示が停止し、システムで共有されているすべてのコンテンツが削除されます。

1. コンテンツセッション中に、**[[メニュー] ≡]>[[セッションの終了]]**の順に選択します。

メッセージに、警告とカウントダウンタイマーが表示されます。

2. **【セッションの終了】**を選択します。

 **注記：** コンテンツを開いたままにするには、**[[Continue Session (セッションの続行)]]**を選択します。

## ブラックボードコンテンツまたはホワイトボードコンテンツを含む通話を終了する

通話中に開かれているブラックボードまたはホワイトボードがある場合(図、マークアップ、スナップショットに加え、空白のボードなど)、通話終了後もコンテンツのセッションを継続できます。(マークアップにハイライトは含まれません。)

1. ブラックボードコンテンツまたはホワイトボードコンテンツを含む通話中に、**[[メニュー] ≡]>[[通話終了] ☞]**の順に選択します。

通話が終了し、コンテンツを開いたままにするかどうか尋ねるプロンプトが表示されます。

2. 以下のいずれかを実行します。
  - **[[Yes, Keep Content (はい、コンテンツを開いておきます)]]**を選択します。
  - **[[No, End Session (いいえ、セッションを終了します)]]**を選択します。

コンテンツを開いておく場合、コンテンツセッションが続行されます。

3. コンテンツを終了する準備ができたなら、**[[メニュー] ≡]>[[セッションの終了]]>[[セッションの終了]]**の順に選択します。

## 5 カメラ

カメラ制御は、通話中でも通話外でも使用できます。

カメラの種類に応じて、以下の方法でカメラを制御できます。

### ローカルカメラを調整する

会議参加者の表示を向上させるため、ローカルカメラを調整します。

カメラトラッキングがオンになっている場合、カメラ制御は使用できません。カメラ制御にアクセスするには、トラッキングをオフにしてください。

Studio X50 システムおよび Studio X30 システムでは、ズームインが最大になった場合に、カメラをパンまたはチルトできます。

1. **[[メニュー] ≡]** > **[[カメラ] □]** の順に選択します。
2. **[[コントロール] <⦿>]** を選択します。
3. ズームインは **[+]** を、ズームアウトは **[-]** を押します。上下にチルト、または左右にパンするには、矢印を押します。
4. コントロール画面を終了するには、**[[戻る] ←]** を選択します。

### 相手側のカメラを調整する

通話中に他の会議参加者の表示を向上させるため、相手側のカメラを調整できます。

カメラトラッキングがオンになっている場合、カメラ制御は使用できません。カメラ制御にアクセスするには、トラッキングをオフにしてください。

 **注記：** この機能の設定については、管理者に連絡して支援を受けてください。

1. **[[メニュー] ≡]** > **[[カメラ] □]** の順に選択します。
2. **[[コントロール] <⦿>]** を選択します。
3. **[[切り替え] ⦿]** を選択して、**[[相手側]** カメラを選択します。
4. ズームインは **[+]** を、ズームアウトは **[-]** を押します。上下にチルト、または左右にパンするには、矢印を押します。

5. コントロール画面を終了するには、**[[戻る]]**← を選択します。

## カメラの電源をオン/オフする

カメラをオンにするとローカルビデオが表示され、カメラをオフにするとローカルビデオが非表示になります。

 **注記：** カメラをオンまたはオフにしても、および Studio E70 カメラのプライバシーシャッターは制御されません。カメラをオフにすると、または Studio E70 カメラはビデオの送信を停止しますが、プライバシーシャッターは開いたままです。参照: プライバシーシャッターの動作の詳細については、「」を参照してください。

1. **[[メニュー]]** ≡ > **[[カメラ]]** □ の順に移動します。
2. 以下のいずれかを実行します。
  - **[[Camera On (カメラオン)]]**  を選択します。
  - **[[Camera Off (カメラオフ)]]** □ を選択します。

## カメラトラッキングをオン/オフする

カメラトラッキングがオンになっている場合、カメラは室内の人々のグループまたは現在の発言者を自動的にフレーミングします (ご使用のカメラおよびシステムの設定方法に応じて)。

 **注記：** ローカルマイクをミュートにすると、スピーカートラッキングが無効になります。

1. **[[メニュー]]** ≡ > **[[カメラ]]** □ の順に選択します。
2. **[[トラッキングオン]]**  または **[[トラッキングオフ]]**  を選択します。

## カメラプリセットを使用する

カメラがプリセットをサポートしている場合、カメラの位置を最大10か所保存できます。カメラプリセットは、保存済みのカメラ位置です。これを使用すると、室内の事前定義済みの場所にカメラを即座に向けることができます。

こちら側のカメラプリセットは、通話中または非通話中に使用することができます。相手側のカメラプリセットは、通話中のみを使用できます。有効にされている場合、これらを使用して相手側のカメラを操作できます。

プリセットを保存すると、選択したカメラとカメラ位置がプリセットに保存されます。

 **注記：** カメラトラッキングがオンになっている場合、カメラ制御とプリセットは使用できません。これらの機能にアクセスするには、トラッキングをオフにしてください。

## ローカルインターフェイスでカメラプリセットを保存する

現在のカメラ位置を後で使用できるようにプリセットとして保存します。

保存されているプリセットを使用すると、通話中または非通話中にこちら側のカメラ位置を変更できます。相手側カメラのプリセットは、通話中に限り使用できます。

1. **【メニュー】**>**【カメラ】**の順に選択します。
2. **【プリセット】**を選択します。
3. カメラを目的の位置に調整します。
4. カメラを目的の位置に調整します。
5. 次のいずれかを行います。
  - 画面で、空のプリセットを選択します。
  - 画面で、プリセットを長押しして、**【保存】**を選択します。
  - リモコンで、番号を押してプリセットを選択します。

## プリセットを選択する

以前に作成したプリセットを使用すると、通話中にカメラを目的の位置にすばやく移動できます。

1. **【メニュー】**>**【カメラ】**の順に選択します。
2. **【プリセット】**を選択します。
3. 次のいずれかを行います。
  - 目的のプリセットの画像を選択します。
  - 画面で、画像を長押しし、**【選択】**を選択します。
  - リモコンで、番号を押してプリセットを選択します。

## プリセットを削除する

必要のなくなったカメラプリセットは削除できます。

1. **【メニュー】**  > **【カメラ】**  の順に選択します。
2. **【プリセット】** を選択します。
3. 画面で、削除する画像を長押しします。
4. **【削除】**  を選択します。

## プライマリカメラを選択する

複数のカメラがシステムに接続されている場合は、通話中かどうかにかかわらず、プライマリカメラを選択できます。

### カメラの優先順位

カメラを接続または切断すると、カメラの優先順位によってプライマリカメラまたはアクティブカメラが決まります。

本システムでは、次のカメラタイプの優先順位が確認されます。

1. 内蔵カメラ (Poly Studio X のみ)
2. HDCI カメラ (Poly G7500 のみ)
3. USB カメラ
4. 人物として表示するように設定された HDMI ソース

### ローカルインターフェイスでプライマリカメラを選択する

Poly ビデオ モードでは、複数のカメラをシステムに接続する場合、ローカルインターフェイスでプライマリカメラを選択します。

1. **【メニュー】>【カメラ】>【カメラの選択】** [カメラの選択] の順に移動します。
2. リストからカメラを選択します。  
選択したカメラがプライマリカメラになります。

## 6 デバイスモードの使用

Poly デバイス モードでは、システムのカメラ、スピーカー、マイク、および接続されているモニターを PC から使用できます。

USB ケーブルを使用してシステムを PC に接続すると、PC のサードパーティ製ビデオ会議アプリケーションを使用して、ビデオシステムのカメラおよび音声機能を制御できます。

たとえば、Zoom Room の通話で、PC のカメラを使用する代わりに Studio X30 を接続し、その 4K カメラを使用して室内の会話の流れに自動的に合わせることができます。Poly のエコーキャンセルマイクおよびスピーカーテクノロジーも通話時に使用されます。

 **注記：** このシステムではホット プラグ カメラをサポートしていません。カメラをシステムに接続するには、システムの電源を切ってカメラを接続し、システムを再起動します。

### デバイスモードの PC およびケーブルの要件

デバイスモードを使用するには、PC とケーブルが以下の要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステムの要件:

- Windows 10 1803 以降
- MacOS 10.12 以降

USB ケーブルの要件:

- ビデオシステムへの USB-C 接続が少なくとも1つあるケーブル
- USB 2.0 または USB 3.0 ケーブル (接続の信頼性とビデオと音声の品質を確保するために推奨)
- セルフパワー式の USB ブースター延長ケーブル (2m 以上の長さの接続の場合)

 **注記：** デバイスの充電目的でケーブルは使用しないでください。充電ケーブルはデータを送信できない場合があります。

HDMI ケーブルの要件:

- PC に HDMI ポートがない場合は、HDMI アダプターが必要です。

## デバイスモードにアクセスする

システムのタッチスクリーンか、TC10 または TC8 いずれかのタッチコントローラを使用してデバイスモードにします。

 **注記：** 管理者は、システムをデバイスモードのままにしておくように設定できます。システムがすでにデバイスモードになっている場合、システムモニターと TC10 または TC8 いずれかのタッチコントローラにより、USB と HDMI ケーブルを PC に接続するように求められます。

■ 以下のいずれかを実行します。

- TC10、TC8、またはタッチスクリーンモニターで、**[[デバイスモード]]**  を選択します。
- Trio 電話では、電話の操作キーを使用して **[[デバイスモード]]**  をハイライトし、**[[選択]]** ボタンを押します。

[デバイスモード] 画面が表示されます。

## PC のアクセサリとしてシステムを使用する

ビデオシステムを外部カメラや音声アクセサリとして使用するには、システムをデバイスモードに設定し、USB ケーブルで Windows PC または macOS PC を接続します。

システムがまだデバイスモードになっていない場合は、**[デバイスモード]**にします。会議アプリケーションでエコーキャンセラーを使用している場合は、その機能を無効にします。

ビデオシステム用の USB-C 接続が少なくとも 1 つあるケーブルを使用してください。USB-C 接続が 1 つしかないケーブルを使用する場合は、デバイスモードが正しく機能するために、USB-C 側をビデオシステムに接続します。

 **注記：** システム管理者がシステムの USB ポートを無効にしている場合、デバイスモードは使用できません。デバイスモードやシステムへの PC の接続についてサポートが必要な場合は、管理者に問い合わせてください。

1. USB ケーブルの USB-C 側をビデオシステムの USB-C ポートに接続し、USB ケーブルのもう一端を PC に接続します。

システムモニターと TC10 タッチコントローラまたは TC8 タッチコントローラに確認メッセージが表示されます。

2. **オプション:** ビデオシステムモニターに PC を表示するには、システムの HDMI 入力ポートを使用して PC を接続します。

## デバイスモードでシステム音声とカメラ設定を調整する

デバイスモードでは、システムのミュート、音量の調整、カメラ設定の調整できます。

**【デバイスモード】**にアクセスし、PC をシステムに接続します。

 **注記：** システムがデバイスモードの場合、接続されている Poly Trio 電話機のコントロールは機能しません。

1. マイクをミュートするには、以下のいずれかを実行します。
  - PCの会議アプリケーションで、ミュートを選択します。
  - タッチコントローラまたは接続されているマイクで、**[[Mute(ミュート)]]**  を選択します。
2. 音量を調整するには、以下のいずれかを実行します。
  - タッチスクリーンかTC10またはTC8で、**[[音量]]**を選択して音量スライダを調節します。
  - PCや会議アプリケーションの設定を使用して、PCで音量を調整します。

 **注記：** 音量を調整する際は、正しいデバイスを選択していることを確認します。音量を変更するだけでは効果がない場合があります。音声デバイスとしてPolyビデオシステムを選択する必要があります。

3. カメラ設定を行うには:
  - a. TC10またはTC8の右側の境界線またはタッチスクリーンで、左方向へスワイプして**[[カメラ設定]]**を選択します。
  - b. **[[カメラ制御]]**を選択します。
    - **[[カメラトラッキング]]**をオンまたはオフにします。
    - **[[プリセット]]**を選択または設定します。
    - ズームインは[+]を、ズームアウトは[-]を押します。
    - 上下にチルト、または左右にパンするには、矢印を押します。

## デバイスモード時の着信を管理する

ビデオシステムでは、デバイスモード時に着信が拒否されます。

## デバイスモードを終了し、PCの接続を解除する

USB接続のPCを使用して、ビデオシステムで変更したカメラオプションは、デバイスモードを終了すると、以前の設定に戻ります。

 **注記：** プロバイダとしてデバイスモードがシステムで使用されている場合、**[[終了]]**  は使用できません。

- 以下のいずれかを実行します。
  - ビデオシステムのローカルインターフェイスか、TC10またはTC8いずれかのタッチコントローラで、**[[終了]]**  を選択します。
  - PCとビデオシステムを接続しているケーブルを取り外します。2分後、(**[[終了]]**を選択していない場合でも)ホーム画面が表示されます。

---

## 7 Poly Control App を使用する

Poly Control App を使用すると、モバイル デバイスや PC などの個人用デバイスを使用してビデオ システムを制御できます。

個人用デバイスをビデオ システムに接続すると、通話の発信や管理、カメラ設定の制御、共有コンテンツの操作を行うことができます。

以下の機能は、システムを制御している PC やモバイル デバイスでは使用できません。

### Poly Control App を使用してシステムを制御する

PC やモバイル デバイスで、Poly Control App を使用してビデオ システムを制御できます。

Poly Control App を使用するには、ビデオ システムのある会議室で、システムと同じワイヤレス ネットワークにモバイル デバイスを接続します。

1. PC またはモバイル デバイスの Web ブラウザーに、`https://<systemIPAddress>/control` と入力します。

Web サイトに、システムの会議室名と IP アドレスが表示されます。

2. **[[接続]]** を選択します。
3. PC またはモバイル デバイスで、システム モニターに表示される 4 桁のコードを入力します。

PC またはモバイル デバイスに、ビデオ システムと同様のユーザー インターフェイスが表示されます。これで、個人用デバイスを使用して、システムを制御できます。

---

## 8 設定

通話前または通話中に、音量の調整、ビデオレイアウトの変更など、オーディオ設定とビデオ設定を調整できます。

## ビデオを調整する

ビデオと特定のユーザー インターフェイスの設定を管理できます。

### 参加者のレイアウトを変更する

通話中、現在のレイアウトから会議により適した別のレイアウトに変更できます。レイアウトのフレームには、こちら側と相手側があります。

1台のモニターでコンテンツを共有する場合、コンテンツはいずれかのフレーム内に表示されます。

1. 通話中、[[メニュー] ≡]>[[レイアウト] - 2. 次のレイアウトのいずれかを選択します。
  - [平等]: 参加者全員が同じサイズになります。
  - [ギャラリー]: 参加者は画面上部に表示され、スピーカーはメインフレームに表示されます。
  - [フルスクリーン]: アクティブなスピーカーがフルスクリーンで表示されます。

## 音声を調整する

システムでは、いくつかのオーディオ設定を制御できます。

### マイクをミュートする

発言者および会議参加者のじゃまにならないように、マイクをミュートできます。

通話中かどうにかかわらず、音声をミュートできます。

■ 以下のいずれかを実行します。

- リモコンの **[[Mute(ミュート)]]**  を押します。
- 画面で、**[[メニュー] ≡]** > **[[Mute(ミュート)]]**  の順に選択します。

ローカルマイクがミュートされているというメッセージが表示されます。

### マイクのミュートを解除する

音声ミュートになっている場合、通話で発言する準備ができたなら、マイクのミュートを解除します。

 **注記：** 管理者は、システムがスリープモードに入ったときに、マイクをミュートするように設定できます。システムを起動したら、マイクのミュートを手動で解除します。システムのスリープ解除時にマイクのミュートは自動的に解除されません。

以下のいずれかを実行します。

- リモコンの **[[Mute(ミュート)]]**  を押します。
- 画面で、**[[メニュー] ≡]** > **[[Unmute(ミュート解除)]]**  の順に選択します。

## 音量調節

音量は通話前にも通話中にも調節できます。

1. **[[メニュー] ≡]** > **[[音量]]** の順に移動します。
2. 以下のいずれかを実行します。
  - タッチスクリーン上で音量スライダを使用します。
  - リモコンの **[+]** ボタンまたは **[-]** ボタンを押します。
  - リモコンの左操作ボタンまたは右操作ボタンを押します (音量が表示されている場合)。

---

## 9 トラブルシューティング

本セクションでは、システムの問題のトラブルシューティングに関連する情報について説明します。リモコンのペアリング、モニターの設定、ヘルプのヒントの場所に関する情報も記載されています。

## Poly デバイス モード

デバイス モード時に発生した問題のトラブルシューティングには、以下のトピックを参照してください。

### 音声レベルが高すぎる/低すぎる

デバイス モードで、ビデオ システムのスピーカーの音声が大きすぎたり、通話参加者の声が聞き取りにくかったりします。

デバイス モードでは、会議アプリケーションとノート PC でビデオ システムの音声を制御します。これらの音量コントロールの調整が必要になる場合があります。目的の音声レベルになるまで、以下の手順を実行します。

1. 会議アプリケーションの音量を調整します。
2. ノート PC の音量を調整します。

### 会議アプリケーションでシステム カメラまたは音声を使用されない

デバイス モードで、会議アプリケーションがビデオ システムのカメラまたは音声を使用していません。

会議アプリケーションでは、デフォルトで、Studio X50 スピーカーなどではなく、接続されているモニタースピーカーが選択される場合があります。

■ 会議アプリケーションで、スピーカー、マイク、カメラデバイスとしてビデオシステムを選択します。

### システムのカメラまたは音声を使用できない

デバイス モードで、会議アプリケーションがビデオ システムのカメラまたは音声を使用していません。こうした種類の問題には、いくつかの理由が考えられます。たとえば、会議アプリケーションでは、デフォルトで、Studio X50 スピーカーなどではなく、接続されているモニタースピーカーが選択される場合があります。

デバイス モードを使用しているときに、以下のような状況が発生することがあります。

- ノート PC の会議アプリケーションで、カメラまたは音声ソースとしてビデオ システムを選択できない。
- ビデオ システムのカメラと音声を使用できないように思われる。
- ビデオ システムのカメラにライブ ビデオが表示されない。

問題が解決するまで、以下の手順を実行します。

1. 会議アプリケーションで、スピーカー、マイク、カメラデバイスとしてビデオシステムを選択します。
2. ノート PC の設定で、スピーカー、マイク、カメラ デバイスとしてビデオ システムを選択します。
3. デバイス モードを終了して再起動します。
4. USB ケーブルを再接続します。
5. ケーブルをノート PC の別の USB ポートに接続します。

6. 別のUSBケーブルを使用してみます。
7. ノートPCを再起動します。

## 音質を改善する

デバイスモードでの通話中、音質があまり良くないことがあります。たとえば、通話中に混線したり、言葉が途切れたりすることがあります。

こうした問題は、USB接続の追加、ケーブルの不良、音声処理の設定といった理由により発生する可能性があります。

音質が改善するまで、次の手順を実行します。

1. ノートPCに接続されているUSB音声デバイス(ヘッドセットなど)を取り外します。
2. ノートPCとビデオシステムを、別のUSBケーブルで接続します。
3. 会議アプリケーションでエコーキャンセラーを使用している場合は、その機能を無効にします。
4. 楽器を演奏している場合は、システムWebインターフェイスでMモードを有効にします。

## ノートPC画面のミラーリングを改善する

ノートPCの画面をHDMI接続でミラーリングした場合、接続されているモニターの画像が最適ではありません。

ノートPCの解像度は、Polyビデオシステムに接続されているモニターに合わせて調整する必要があります。

画面のミラーリングの品質が改善するまで、次の手順を実行します。

1. ノートPCの解像度設定を調整します。
2. ノートPCのディスプレイ設定を調整して、画面がモニターに複製されるようにします。

## コンテンツをワイヤレスで共有できない

コンテンツをワイヤレスで共有しようとしたところ (AirPlay 認定デバイスからなど)、何も起こりません。

ビデオシステムがPolyデバイスモードの場合、コンテンツをワイヤレスで共有することはできません。コンテンツをワイヤレスでビデオシステムと共有するには、デバイスモードを終了する必要があります。

■ 以下のいずれかを実行します。

- ビデオシステムのローカルインターフェイスまたはTC8デバイス(該当する場合)で、**[[終了] (X)]**を選択します。
- PCとビデオシステムを接続しているケーブルを取り外します。2分後(**[[終了]]**を選択していない場合でも)、ビデオシステムのホーム画面が表示されます。

## コンテンツ ヘルプのヒントを表示する

コンテンツ ヘルプのヒントでは、HDMI、Polycom Content App、Airplay、または Miracast の認定デバイスを使用して、コンテンツをストリーミングする方法に関する情報が表示されます。

 **注記:** 共有するコンテンツのソースにすでに接続している場合、ヘルプのヒントは表示されません。

1. ホーム画面で **[[コンテンツ]]**  を選択します。  
ヘルプ画面が開きます。
2. ソースタイプに関するヒントを確認します。
3. 前の画面に戻るには、**[[戻る]]**  を選択します。

## ブラックボード ヘルプのヒントを表示する

ブラックボードまたはホワイトボードに注釈が付けられているヘルプでは、注釈アイコンまたはタッチジェスチャーの使用方法に関する情報にアクセスできます。

1. ホーム画面で **[[ブラックボード]]**  を選択します。
2. ツールバーで **[[ヘルプ]]**  を選択します。  
ヘルプ画面が開きます。
3. 画面を閉じるには、画面をタップするか、リモコンの **[[戻る]]**  を押します。

## 10 サポートを受けるには

Poly は HP の一員になりました。Poly と HP を組み合わせることで、未来のハイブリッドワークエクスペリエンスを創造する道が開かれます。Poly 製品に関する情報は、Poly サポートサイトから HP サポートサイトに移行されました。

[Poly Documentation Library](#) では、引き続き Poly 製品のインストールガイド、設定ガイド、管理ガイド、ユーザガイドを HTML 形式と PDF 形式で提供しています。また、Poly Documentation Library では、Poly のお客様に Poly サポートから [HP サポート](#) への Poly コンテンツの移行に関する情報も提供しています。

[HP コミュニティ](#) では、他の HP 製品ユーザからの追加のヒントやソリューションを提供しています。

### HP Inc. の住所

#### HP US

HP Inc.  
1501 Page Mill Road  
Palo Alto 94304, U.S.A.  
650-857-1501

#### HP Germany

HP Deutschland GmbH  
HP HQ-TRE  
71025 Boeblingen, Germany

#### HP UK

HP Inc UK Ltd  
Regulatory Enquiries, Earley West  
300 Thames Valley Park Drive  
Reading, RG6 1PT  
United Kingdom

### 文書情報

**モデル ID:** Poly Bluetooth® リモコン (モデル: P010)、Poly IR レシーバー (モデル: BW7650)、Poly IR リモート (モデル: BW7600)、Poly マイク IP アダプタ (モデル: P012)、Poly IP 卓上マイク (モデル: P013)、Poly IP シーリングマイク (モデル: P014)、Poly Studio X70 (モデル: P026)、Poly Studio X50 (モデル: P017)、Poly Studio X30 (モデル: P018)、Poly Studio E70 (モデル: P025)、Poly TC10 (モデル: P030)、Poly TC8 (モデル: P020)、Poly Studio G62 (無線モデル: PBJ-STG-62R、非無線モデル: PBJ-STG-62N)、Poly Studio X72 (無線モデル: PATX-STX-72R、非無線モデル: PATX-STX-72N)

**文書番号:** P10729-001A

**最終更新日:**2024 年 11 月

本書に関するお問い合わせやご提案がございましたら、[documentation.feedback@hp.com](mailto:documentation.feedback@hp.com) まで電子メールでお送りください。